

桜友会報

[桜友会報]

第85号

2004.12.1

桜友会員
10万人突破!

就任のご挨拶

桜友会副会長 東園基政

アテネオリンピック見聞録

アテネの教え

南フランスの音楽祭から

三島由紀夫原作のオペラ作品ほか

第1回 桜友会参与会開催

「学習院」の文化講演会

平成16年度周年同窓会

草上会卒業生インタビュー

作家 津村節子

学習院女子大学にこの秋、新校舎が完成しました。

「喜んでいただける活動を」

CUSTOMER SATISFACTION INDEX



桜友会副会長
東園基政
(昭36物)

平成16年度より桜友会副会長。準
会員部会の助成金支給委員会と準
会員就職支援委員会、親睦部会の
催事委員会を担当

母校である学習院には、「女子学習院幼稚園」から大学まで18年間お世話になりました。この間、初等科5年生からは学習院ボーイスカウト隊で、高等科からは馬術部で、さらに大学1年の時には清明寮に入寮させていただき先輩諸氏と生活するなど、一貫教育の中で学業とは違った数々の多様な経験をさせていただきました。この経験はさらに多くの先輩、同僚、友人、後輩とめぐり合う事になり、その後の社会人生活にとって重要な糧と

なりました。
さて、2年間の役員候補者推薦委員会委員長を退任し「ホッと」したのも束の間、今回回らずも、副会長に就任する事となりましたが、桜友会活動を通じお世話になった学習院へも恩返しをさせていただける好機を得たと考え、僭越ながらお引き受け致しました。
現在、準会員部会、つまり助成金支給委員会、準会員就職支援委員会、そして親睦部会のうち催事委員会を担当させて

いただいております。各委員会においては委員長を中心に各委員の方々がボランティア精神を発揮し精力的な活動が展開されておりますが、この機会に抱負を述べさせていただきます。
まず、各委員会活動の目的は何か、誰のために何をやらねばならないのか、それは対象となる方々に喜んでいただけるのか、費用対効果は正しいのかを明確にして行動したいと思っています。
対象となる方々（顧客）のご満足を高めることは、同時に委員一人一人が達成感を味わえるという事でもあります。
助成金支給委員会では、各種助成金の支給基準、方法など仕組みの見直しを進め対象となる準会員の方に役立ち、喜んでいただけるようにします。
就職支援委員会では各大学就職部関係各位と協力し、一人一人の学生諸君にさらに満足してもらえる就職活動、そして希望する企業への就職実績をあげるよう支援します。
催事委員会では会員はもとより学校関係者、ご家族、在学生に喜んでいただけるチャリティーチエリーパーティー、オール学習院の集いを開催します。
桜友会は本年度を変革へ向けてのトライアル・イヤーと位置付けております。旧弊に拘る事なく「顧客満足度（Customer Satisfaction Index）向上」をモットーに、より多くの会員、準会員そして学校当局に喜んでいただけるよう微力ながらお役に立ちたいと思っております。
ご支援の程宜しくお願い申し上げ就任のご挨拶と致します。

※文中の「女子学習院幼稚園」とは、明治27年（1894）華族女学校に付設されて以来、昭和19年7月11日に保育を休止するまで存在した幼稚園。昭和22年3月31日に学習院と女子学習院が宮内省の管轄から離れ私立の財団法人学習院として再出発した際、規則も廃止され正式に消滅した。現在は「学習院幼稚園」として復活。

CONTENTS | 桜友会報 第85号

DECEMBER 2004

就任のご挨拶／桜友会副会長・東園基政	②
第1回桜友会参与会開催	③
アテネの教え／黒川光隆	④
南フランスの音楽祭から／中島しげ子	⑥
同級生再会の場／卒業30・40・45・50周年同窓会	⑧
「学習院」の文化講演会／高知市・名古屋市で公開講演	⑩

「母校の役に立ちたい」／桜友会の就職支援活動	⑫
桜のかけはし	⑬
桜友会ライブラリー／新刊ブックガイド	⑳
学部会のページ／作家・津村節子インタビューほか	㉔
桜友会事務局だより	㉘
平成15年度決算・平成16年度予算	㉚

平成16年10月21日 高輪プリンスホテル「貴賓館」にて

桜友会参与会

より良い同窓会のために、第1回会合を開催。

参与20名と亀井桜友会長以下、副会長、常務理事が出席して懇親を深める。



会合の冒頭で挨拶をする亀井桜友会長。トライヤル・イヤールと名づけた本年度の桜友会の取組みを説明した



高輪プリンスホテル貴賓館での会合と懇親会を終えたあと全員で記念撮影。第2回以降の出席もお願いしたい



写真左／参与のお2人をはさんで、小野田博、東園基政両副会長、黒川光隆常務理事。右上／歴代の草上会長が3人で。右下／高森邦彦桜友会事務局長が今回ご出席の最長老、原口兼義氏のお話を聞く。いずれも懇親会で



20名の参与の方々が集まった第1回桜友会参与会。桜友会活動に長年にわたって尽力された知恵をいただきたい

桜友会の現況を報告し、
ご意見をうかがう
趣旨の「参与会」。

平成16年10月21日、高輪プリンスホテル「貴賓館」で、桜友会では初めての試みである参与会が開催された。

出席参与は40名のうち20名で、桜友会からは亀井泓会長をはじめ、小野田博、村上智也、東園基政の3副会長以下6名の常務理事が出席した。

「参与制度」は、長年にわたって桜友会活動に尽力されてきた方々に、その経験を現活動メンバーに伝えていただきたいという趣旨で設けられたもの。今回の会合は、その具体策として実施されたわけだが、さまざまな課題を抱える桜友会にとって大変心強い会となった。

高輪プリンスホテルの由緒ある「貴賓館」を会場にした第1回参与会は、高森邦彦（昭54政）事務局長の司会で、まず亀井泓会長（昭24旧高）が挨拶に立った。

桜友会の現況報告では、会員数が10万人を超えたことをふまえ、さまざまな取組みに着手していること、また、それらの取組みについて本年度はトライヤル・イヤールと位置づけ、来年度の結実に向けて検討中であることが説明された。

質疑応答後は別室での懇親会に場所を移し、なごやかに交流を深める会となった。乾杯のご発声は、今回の出席者の中の最長老である原口兼義（昭13旧高）参与をお願いした。今後も桜友会活動に対するご助力をいただきたいものである。

アテネの教え

スポーツの祭典は哲学の実践の場。

(財)日本オリンピック委員会
事業・広報専門委員

黒川光隆

(桜友会常務理事／昭43政)

私は、平成16年8月21日から31日まで、第28回アテネオリンピックを観戦してきました。

ご存知のようにアテネは近代オリンピックの発祥の地であり、第1回アテネ大会は1896年に開かれています。また、古代オリンピックが開かれていた由緒ある歴史的な街でもあります。古代から現代までがひとつの空間にワンパッケージ化された街であり、例えば古代人が使っていた水飲み場を現代でも活用しています。言葉にならない不思議な感動を持ちました。古代人の知恵のすごさに驚き、古代人から学ぶことも必要だと思いました。少なくとも開会式・閉会式を見る限り、古代からのギリシャ哲学、ギリシャ演劇の血が演出に脈々と生かされており、本当に感動し、驚嘆した次第です。

街の感動は書ききれないくらい色々ありますが、日本選手の活躍を振り返ってみたいと思います。この記念すべき大会に日本は、金16、銀9、銅12、史上最多の計37個のメダルを獲得しました。多くの国民が応援し、感動し、特に子供たちに大きな夢を与えたことと思います。また、メダルは選手の心・技・体が完全に一致して初めて手が届くものであることから、日本人のたくましさ、優秀性、スポーツ医科学の先進性を国際社会の中に強烈にアピールできたと思います。

ところで、オリンピック会場では、国・宗教、人種を超え、どの国の選手であれ、その活躍は賞賛されます。サッカーのワールドカップと大きく違い、必ずしも国対国のマッチではなく、スタートラインには数カ国の選手が並び、個人競技の対戦相手もその都度変わってきます。ひとつの会場には、多くの国の人達が応援に来ており、その中で大きな日の丸を振っている若者を数多く見かけました。旗を振ることは悪いことではありません。しかし、隣席の他国の人達の顔に日の丸が巻き付いたらどんな思いを持つでしょうか。日の丸を腰に巻き付けたり、敷い

ていた応援団もあり、それはどう見えるでしょうか。

会場では、日本のメディアの取材合戦もすごいものがありました。日本から連れてきた応援団や家族を取材するわけです。ただそこは、必ずしも日本人だけの席ではありません。他国の人達が迷惑顔で取材陣を見ている姿を何回も目撃しました。これではどんなに選手が活躍しても、日本に対するイメージは明らかにマイナスになると感じました。オリンピックにおける応援・取材には、オリンピック文化を尊重する礼儀が必要です。

最後にご提案です。国際人になるためのベーシックな教養として、学習院の教育の中に、国際社会の中の礼節とともに国旗・国家の意味・扱い方、さらに近代オリンピックの創始者・クーベルタン男爵が提唱したオリンピックの理念「オリンピックイズム」を取り入れていただきたいと思います。「オリンピックイズム」は、争いのない平和な世界にスポーツを役立てること、スポーツを通じてフェアプレー精神の基に身体と精神を鍛え、文化や国の違いを超えてお互いに理解し合い友好を深め、さらには世界平和に貢献していくというものです。そして、オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加すること、人生で大切なことは、成功することではなく努力することであると訴えています。結果より過程を重視した考え方を示し、いかなる時でも最善を尽くすことの大切さを説き、現代社会・国際社会が抱えている多くの問題を解決する考え方が示されています。この理念を大切にし、スポーツを通じて実践していければ、心身ともに調和のとれた「人間力」の高い人間を創出できると思います。

アテネオリンピック見聞録からご提案まで、長々と書かせていただきましたが、オリンピックは単なる国際スポーツ大会やお祭りではなく、哲学の実践の場であることを述べ、報告を終わらせていただきます。

近代オリンピックの理念とは？

近代スポーツの歴史をふり返ると、まず19世紀半ばにイギリスで組織され、その後施設の充実を図ったアメリカが普及推進の力となった。近代オリンピックはその間発展普及をとげた各種競技が総合されたものだが、大正14年（1925）に制定されたオリンピック憲章には、すべての国の競技者を公平、平等に参加させ、スポーツを通じ、相互理解と友好の精神によって若者たちを教育し、そのことで平和世界の建設に協力するとの一節がある。



IAJPNIA

「大きな日の丸」が 世界を行く。

国際社会の中での礼節に
問題はなかったか？

金16、銀9、銅12、史上最多
の37個のメダルを獲得した日
本。大きな感動を与えてくれ
たスポーツの祭典

© PHOTO KISHIMOTO

南フランスの音楽祭から

三島由紀夫原作『斑女』ほか



中島しげ子

(昭38女高/常磐会75回)

FESTIVAL
D'AIX-LES-BAINS

茜色に暮れなずむ広大な土地で
ワイン、シャンパンを片手に開演を待つ。
そんなゆとりのある優雅な時間を満喫!

平成16年7月、3年ぶりでエクス・アン・プロヴァンスとオランジュでの音楽祭に出かけました。

私は音楽を専門に勉強したわけではありませんが、家族の影響もあり、小さい頃よりクラシック音楽を聴いていたのしみ、オペラは特に大好きでした。このたびはオペラを6演目観ましたが、特に印象に残ったものをここに記してみたいと思います。

今回私が一番たのしみにしていったものは、三島由紀夫の近代音楽集から『斑女』を若手作曲家細川俊夫氏が、ドナルド・キーンの英訳をもとに台本を書き、作曲し、ベルギー王立歌劇場の音楽監督である大野和士氏の指揮での世界初演の新作オペラでした。日本人作曲家のオペラがエクス・アン・プロヴァンス国際オペラ音楽祭で演奏されるのは創設以来初めてで、町のあちこちに『斑女』上演のポスターが見うけられ、細川氏の紹介があらゆる新聞や雑誌に載っていました。この演目『斑女』は、能を下敷にした新しいオペラで、細川氏いわく「沈黙の間を生じる音楽を本来の性質にすることでオペラ一般の欠点を改善して身体の動きに繊細な感覚を持たせる」、また、日本語の台詞を使って歌った場合、謡曲になってしまうのを避けるため英語にしたと。

ストーリーを紹介すると——狂女の花子はかつて一夜の契りを結んだ吉雄を待ちつづける日々を送っている。花子は老嬢の画家実子のアトリエに囲われている。毎日駅で来ぬ人待つ狂女を新聞が取り上げたので、かつて取り交わした目印の扇を持って吉雄がアトリエに現われ

るが、いざ再開した花子は相手を本人と認めず追い返してしまう。

夢と現実、狂気と正気の境目を往復するオペラです。大野和士氏も言っていました、この作品は待ちつづける美。待つという三島由紀夫ならではのテーマ。細川氏は、安直に日本の伝統楽器を使うのではなく、電子楽器そしてオーケストラと洋楽器を使用、テンポはゆったりとしていました。

会場はさほど大きくないテートル・ド・ジュ・ド・ポム。舞台装置は正面の奥に木の板が間隔をおいて天井まで積み上げられ、両側には左右に回転するパネル板を仕切りのようにおいただけのすっきりとした舞台。また、主人公花子が身にまとった白いスカートは日本の衣装の広い裾が上から見ると扇の形となり音楽に合わせて開いたり閉じたりするという



著者・中島しげ子/学習院女子中等科を経て昭和38年同女子高等科卒業。卒業後イギリスへ渡り、ロンドンハマースミスカレッジを卒業。常磐会75回

70プロフィール

工夫がなされていました。登場人物3人の歌手による語り、シュプレヒヒゲザンク（語りと歌の中間形態）、歌の3つの手法による声の表現をおりなすことで空間と時間にかぎりのない能の特徴を現代芸術の表現に生かし、見ていて美しく、現代音楽としてはわかりやすい舞台でした。繊細で表情豊かな大野和士氏の指揮はみごとで歌手達を上手に導き、聴衆を引きつけていました。

さて、あとひとつ興味深く観た演目は、古典派の様式を確立した代表的作曲家モーツアルトの『後宮からの逃走』です。会場はグラン・サン・ジャンという町より車で30分ほどの郊外にある15世紀の館でした。パリ滞在の長い友人に聞くと、ここによると、この館は、市が買い上げ夏は音楽祭あるいは子供達のキャンプ場などに使用しているそう。広大な土地に

Culture Report

オペラ鑑賞の旅



『斑女』 三島由紀夫の「近代能楽集」に収録されている「斑女」
細川俊夫作曲・大野和士指揮

館、そして池があり、オペラは夜9時半
始まりですが、人々は三々五々早めに会
場に入り、茜色に暮れなずむ陽をながめ
たのしんだり、広大な庭をゆつくりと散
歩し、草の上にくつろぎ、ワインやシャ
ンペンなどを飲みながら開演を待ちま
す。このような光景を目にすると、ゆと
りのある生活が感じられ、なんともうら



『後宮からの逃走』 モーツァルトの代表作。色どり鮮やかな衣裳が素晴らしい
モーツァルト作曲・マルク＝ミンコフスキー指揮

やましいかぎりでした。
さて、舞台はトルコで、たて幕と傾い
た塔があるのみで場面が変わること新し
い幕がおちるしかけ。トルコ太守セリム
の館。スペインの貴族ベルモンテは恋人
コンスタンツェ救出のために館に侵入し
ようとする。侍女のブロンデ、使用人ペ
ドリツロとともにここに囚われの身とな

っている。忍びこんだベルモンテがペド
リツロに再会、コンスタンツェを思い心
高まる。そこへ太守が彼女をつれて帰還
する。彼女の心は悲しみでいっぱい、ペ
ドリツロは太守にベルモンテを建築家と
紹介する。番人は気を許さなかったが、
ついにベルモンテは恋人と感激の再会。
真夜中にいよいよ恋人の救出、だが番人
に捕ってしまう。それにもかかわらず太
守は寛大に4人を許す。
マルク＝ミンコフスキーの指揮で、よ
く構築されており、テンポも軽快、彼自
身もたのしんでいるようでした。シンブ
ルでありながら、舞台装置、そして衣裳
も色どり鮮やかで、音楽、舞台、歌手の
人達がひとつになったのたのしいものでし
た。その時感じたことは、なにも一流の
名歌手達がそろわなくても、アンサンブ
ルがきちんとしていれば、日本人の無名
の若手歌手だけでもちゃんと魅力ある舞
台が出来るということでした。今回の舞
台は、ザルツブルク、ウィーン国立オペ
ラ、メトロポリタンのスター歌手をそろ
えた公演よりもはるかにモーツァルトの
ジグシュピール（歌芝居）の喜びを感
じさせるまことに興味深い素晴らしいもの
となりました。
訪先の劇場では、いつもその時は夢中
になつて身を乗り出して舞台を見、興奮
して聴いていますが、日本へもど少し
時間をおいて思い出しますと、その時の
感動が鮮烈に蘇り幸福感にみたされま
す。これもひとえに、色々とお助け下さ
った友人のおかげと心より感謝をしてい
ます。

平成16年度周年同窓会

同級生再会の場

同期卒業の学年が一堂に会する周年同窓会。

校友会「学年会組織化委員会」では、同窓会の基本である同学年の会を推進中。

参加して楽しく、母校の支援ともなる会にぜひ参加を!



ずらりと並んだ同期生、充実した時の積み重ねがいい顔を作るのだろう



左の昭和シェル石油社長・新美春之氏も同期



田島義博学習院長と語らう同期生3人

卒業45周年

昭和34年卒業

平成16年11月6日、目白の学習院創立百周年記念会館にて、「卒業45・47周年記念同期会」ということで女子短期大学卒業の同期メンバーも。



同期会実行委員長の酒井佐芳氏(昭34物)

校友会組織部会に属する「学年会組織化委員会」(委員長・耀英一常務理事)では、30周年、40周年、50周年の「周年同窓会」の開催について積極的に推進中である。同窓会の核となるのが同学年のメンバーであること、あるいはそうあるべき、という考えにもとづくもので、校友会活動活性化の起爆剤となりうる大きな存在として位置づけられている。

平成16年度は、卒業30周年、40周年、50周年に加え、卒業45周年のメンバーが同期会を開催した。いずれも200〜300名の参加者で盛大な会であった。

卒業の会と名づけられているが、実体はいずれも、学習院大学、学習院女子短期大学の同期入学者の会であり、事実、卒業45周年の場合、正式名称は「卒業45・47周年」と案内されている。また、初等科・高等科の同期を含むことも定例で、オール学習院の同期会というイメージが最近の傾向である。

開催に当たっては、一部の発起人が1年ほど前から準備をはじめ、協力メンバーを増やしていくという流れで進められている。目白の学習院創立百周年記念会館を会場にすることが多いが、会場のおさえは早目にしなければならぬし、来賓をお願いする学習院長や大学長、女子大学長といった方々のスケジュールもお聞きしなければならない。

発起人の皆様の苦勞にむくいるというわけではないが、ぜひ多数の参加をお願いしたいものである。

「学年会組織化委員会」では、現在、卒業10周年、20周年の記念同窓会も視野に入れた活動を進めつつある。

ご出席いただき再会を喜ぶ。

学習院長、両大学長にも

卒業50周年

昭和29年卒業

平成16年6月1日、虎ノ門の霞会館にて。当時の卒業生233名のうち約50名が出席という高出席率。卒業時の政治学科の集合写真を配布。



学習院大学名誉教授の田中靖政氏(昭29政)



飯塚二郎氏(昭29哲)による三本締めで会はお開きとなった

卒業40周年

昭和39年卒業

平成16年9月25日、百周年記念会館にて。卒業の年は新幹線開業、東京オリンピック開催の年。政経学部が法学部と経済学部に分かれた年でも。



発起人代表をつとめた児玉茂幸氏(昭39経)



最近は短大卒業者との合同開催が定例となっている



勤務地のニューヨークからかけつけた人も

卒業30周年

昭和49年卒業

平成16年10月16日、百周年記念会館にて。入学年には三島由紀夫氏が割腹自殺。若者文化が花開いた時代でもあり会場には生バンドが。



テレビ画面でもおなじみ岩田公雄氏(昭49法)



ポップス系の生バンドが在学当時を再現した



会の準備に活躍した発起人の方々に感謝

平成17年度の周年同窓会
該当者の皆様へ！
校友会では卒業30周年、40周年の同窓会が定例化しています。平成17年度の昭和50年卒業(30周年)、同40年卒業(40周年)の皆様は、『校友会報』での告知やホームページの情報にご注意下さい。親しい友人、知人とぜひ参加を！

第61回／高知市

橋本大二郎知事、 高知市長ほか 地元有力者の顔も。

平成16年6月12日、新阪急ホテルで。講師／永井和子氏「源氏物語の楽しさ」、角野卓三氏「俳優業裏話し」。学習院初等科出身の橋本知事、高知市長も懇親会に。



橋本大二郎知事、夫妻も懇親会に登場



角野氏と高知市長の岡崎誠也氏



公開講演後の“合同懇親会”も盛大に開催

LECTURE MEETING○学習院公開講演

「学習院」の 文化講演会

33年目を迎えた伝統の企画、
来年度は佐賀市と郡山市で。



角野卓三
俳優

永井和子
学習院女子大学教授

昭和146年学習院高等科を経て学習院大学経済学部経済学科卒。昭和145年文学座研究所入所（第10期）、同46年座員となり現在に到る。この間、昭和159年に第15回紀伊國屋演劇賞・個人賞、芸術選奨文部大臣・新人賞受賞、平成11年には第7回読売演劇大賞・最優秀男優賞受賞、同12年には第55回芸術祭受賞。舞台のほか映画、テレビにも多数出演。TBSテレビで放送中のドラマ「渡る世間は鬼ばかり」のラーメン屋幸楽の主人役でおなじみ。学習院大学時代は演劇部に所属し、学内に小劇場を作るなどリーダーとして活躍。

昭和128年女子学習院初等科、学習院女子中等科を経て学習院女子高等科卒。同32年お茶の水女子大学卒。同35年学習院大学大学院修士課程修了。同40年学習院大学文学部非常勤講師、同55年学習院女子短期大学教授、平成10年学習院女子大学教授に就任し現在に到る。平安時代を中心とする日本文学、老人と文学などが研究分野。著書に『伊勢物語（対訳日本古典新書）』『枕草子（新編日本古典文学全集）』『源氏物語と老い』『源氏物語 横笛・鈴虫（源氏物語の鑑賞と基礎知識）』『源氏物語の研究』『続 源氏物語の研究』などがある。

知的財産の還元、 母校のPRに 桜友会も運動！

学校法人学習院、学習院大学が主催し、学習院父母会、常磐会とともに桜友会が後援する「学習院公開講演」。平成16年度は、高知市と名古屋市中区で開催された。

この公開講演、今では学習院の恒例行事となっているが、そのはじまりは昭和47年に当時の学校法人企画室で計画されたもの。その趣旨は、一般公開の文化講演会を全国各地で開催することによって、学習院の教育・研究成果を広く社会に還元すること、また、それを通じて卒業生および父母の方々に学習院の現在の姿を知っていただくこと、さらには学習院への協力要請と関係組織の活性化をめざしたいというものであった。

開催にあたっては、全国支部桜友会が会場セッティング、地元へのPR、当日の運営などに協力している。

第1回の公開講演は、昭和47年11月25日、福岡市の明治生命館で開催された。講師は、当時の学習院大学文学部教授の早川東三氏と学習院女子短期大学長の児玉幸多氏がつとめた。以来年を重ねて、今年で33年目。去る10月23日の名古屋市中における公開講演は62回目となった。

別表に過去30回の記録を掲載したが、一読して大変な行事であることが分かる。平成17年度は、6月12日に佐賀市で63回目を、11月20日に福島県郡山市で64回目を開催する予定。

過去30回の公開講演 (平成1年→平成16年)

33年目、63回を数えた学習院公開講演。開催にあたっては学校法人広報課と校友会全国支部の連携によって進められている。1年前の早い時期に開催候補地を選定。校友会全国支部との調整で正式決定し開催の運びとなる。当日は近況報告会、懇親会が同時に開かれる。

No	公開講演講師	年月日	開催地
33	大野 晋 三浦謹一郎 学習院大学文学部教授 東京大学工学部教授	H1.10.7	高崎市
34	飯坂 良明 吉村 昭 学習院大学法学部教授 作家	H2.11.17	富山市
35	津村 節子 川嶋 辰彦 作家 学習院大学経済学部教授	H3.9.28	新潟市
36	本間三和子 高島 肇久 学習院大学講師 NHK報道局長	H3.11.30	静岡市
37	遠藤 浩 篠沢 秀夫 学習院大学名誉教授 学習院大学文学部教授	H4.10.3	福島市
38	宮岡 千里 磯村 尚徳 ソニー常務取締役総合研究所長 ユネスコ事務総長特別顧問	H4.12.5	甲府市
39	田島 義博 磯村 尚徳 学習院専務理事・学習院大学経済学部教授 外交評論家	H5.10.16	徳島市
40	吉岡 曠 大石慎三郎 学習院大学文学部教授 学習院大学経済学部教授	H5.11.20	水戸市
41	池坊 保子 篠沢 秀夫 華道家(元池坊学園理事長) 学習院大学文学部教授	H6.9.10 約800名	宇都宮市
42	磯村 尚徳 田島 義博 外交評論家 学習院専務理事・学習院大学経済学部教授	H6.11.3 約500名	熊本市
43	磯村 尚徳 香山 健一 パリ日本文化会館館長 学習院常務理事・学習院大学法学部教授	H7.9.9 約460名	仙台市
44	篠沢 秀夫 高島 肇久 学習院大学文学部教授 日本放送協会解説委員長	H7.11.18 約300名	福井市
45	池坊 保子 川嶋 辰彦 華道家(元池坊学園理事長) 学習院大学経済学部教授	H8.9.21 約900名	盛岡市
46	早川 東三 波多野敏雄 学習院大学文学部教授 前国連大使、フォーリン・プレスセンター理事長	H8.11.23 約450名	名古屋市
47	篠沢 秀夫 吉村 昭 学習院大学文学部教授 作家	H9.11.29 約780名	新潟市
48	植木 浩 森村 桂 学習院常務理事 作家	H9.12.20 約400名	長野市
49	篠沢 秀夫 池坊 由紀 学習院大学文学部教授 華道家元 池坊 次期家元	H10.9.12 約850名	大分市
50	大石慎三郎 松平 定知 学習院大学名誉教授 NHK放送総局エグゼクティブ・アナウンサー	H10.11.14 約600名	大宮市
51	川嶋 辰彦 児玉 清 学習院大学経済学部教授 俳優	H11.10.2 約580名	千葉市
52	篠沢 秀夫 野村 豊弘 学習院大学文学部教授 学習院常務理事・学習院大学法学部教授	H11.11.20 約350名	松山市
53	藤竹 暁 鈴木その子 学習院大学法学部教授 食品・化粧品研究開発家、執筆家	H12.7.1 約780名	山形市
54	久保 治彦 平野 次郎 学習院常務理事 NHK解説委員 学習院女子大学特別専任教授	H12.9.9 約400名	弘前市
55	篠沢 秀夫 児玉 清 平野 次郎 学習院大学文学部教授 俳優 NHK解説委員	H13.7.14 約600名	福岡市
56	池坊 由紀 小林 忠 華道家・学習院女子大学客員教授 学習院大学文学部教授	H13.9.22 約600名	宮崎市
57	児玉 清 平野 次郎 俳優 NHK解説委員	H14.7.13 約800名	札幌市
58	津村 節子 脇田 宏 学習院女子大学教授 作家 プロ野球評論家	H14.10.19 約600名	仙台市
59	豊田 泰光 奥村 洋彦 プロ野球評論家 学習院常務理事	H15.9.27 約550名	水戸市
60	奥村 洋彦 児玉 清 学習院大学経済学部教授 俳優	H15.11.29 652名	静岡市
61	永井 和子 角野 卓造 学習院女子大学教授 俳優	H16.6.12 712名	高知市
62	奥村 洋彦 板東 英二 学習院常務理事 学習院大学経済学部教授 野球評論家・タレント	H16.10.23 527名	名古屋市



橋本知事が懇親会で挨拶。橋本氏は初等科昭和34年卒業
学校法人、父母会、校友会からそれぞれ役員の方々が出席



第62回／名古屋市

中部国際空港のオープン、 万博開催を控えた 名古屋市で。

平成16年10月23日、ウェスティンナゴヤキャッスルで。講師／奥村洋彦氏「経済・金融動向の新展開」、板東英二氏「かむしゃら人生」。講師は名古屋人脈！

奥村洋彦

学習院大学教授

昭和39年名古屋大学卒業（経済学博士）後、日本銀行入行。同47年野村総合研究所入社、取締役経済調査部長等を歴任。平成7年学習院大学経済学部教授に就任。同14年からは学習院常務理事を兼任。著書に「現代日本経済論——「バブル経済」の発生と崩壊」（東洋経済新報社／平成11年。同書で石橋湛山賞受賞）、「金融」（貝塚啓明、首藤恵氏との共著、東洋経済新報社／平成9年。第2版平成14年）等がある。また、財務省独立行政法人評価委員長、内閣府国民生活審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会専門委員、経済産業省産業政策懇談会委員、学士会評議員等でも活躍

板東英二

野球評論家・タレント

昭和33年夏の甲子園、第40回記念大会に徳島商高の投手として出場、準優勝。準々決勝の対魚津高校、延長18回引き分け翌日再試合は、「板東対村松」の投げ合いで有名。当大会での脱三振33回は高校野球記録。同34年中日ドラゴンズ入団。在籍11年間で435試合、77勝65敗、防御率2.89。オールスター出場3回。引退後の昭和45年より中部日本放送（CBC）、サンケイスポーツ新聞、毎日放送（MBS）などで野球解説・評論活動。また、昭和63年の東宝映画「あ・うん」の演技により日刊スポーツ映画大賞助演男優賞、ブルーリボン最優秀助演男優賞、第13回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞を受賞。





2日間にわたるセミナーを終え、百周年記念会館での全体総括に集合した参加者たち

「母校の役に立ちたい」

学習院大学・女子大学就職担当者と連携で！

学習院大学での面接試験対策セミナー

昨年度実施のタイムスケジュール（平成16年2月7～8日）

第1日目		第2日目	
個人1回+グループ1回を実施 自己PRの完成に向けた基礎固め		個人1回+グループ1回（+交流試合）を実施 志望理由を含め実戦的面接でレベルアップ	
時間	内容	時間	内容
8:30	講師集合 講師事前打ち合わせ	8:30	講師集合 講師事前打ち合わせ
9:30	百周年記念会館 講師紹介	9:00	8) 個人面接ー2 面接13分+アドバイス2分=15分 ×13名=3時間15分 自己PR・志望理由 パーソナルチェック
9:45	1) 移動・各班別教室レイアウト変更		※休憩は各班毎に適宜設定
10:00	2) 講師及びメンバー自己紹介 20分 「面接セミナーへの期待」等		
10:20	3) 就職に向けた基礎固めの時間 就職活動準備チェック 就職の意義・意味を考える 等 自己分析・自己PR確立への指導		
11:30	4) 履歴書全体指導とQ&A		
12:00	昼食 (自己分析を固め午後の面接に備える)	12:20	昼食・移動
13:00	5) 個人面接ー① 入・退出を含めた面接を体験 面接10分+アドバイス2分=12分 ×13名=2時間36分 自己紹介・学生時代頑張ったこと等 自己PRを中心とした確認面接 履歴書個別指導	13:00	9) 交流試合 2時間20分 複数班でグループ面接 グループディスカッション等実施 (内容は交流班講師が協議し決定)
15:40	休憩	15:20	移動・休憩
15:50	6) グループ模擬面接ー① 面接15分+アドバイス5分=20分 ×3グループ(4～5名)=60分 自己分析確立に向けて	15:30	10) グループ模擬面接等仕上げ面接 20分×3グループ=1時間 2日間を振り返って講師コメント レイアウト変更&移動
16:50	7) 第1日目の総括とQ&A	17:00	百周年記念会館 全体総括
17:00	学生解散 講師打ち合わせ	17:30	学生解散 講師打ち合わせ
		19:00	終了

氷河期といわれる就職戦線の中でも、学習院の就職状況は好調とされているが、学校および桜友会のこんな活動にも注目だ。

学生860名が参加！ 面接試験対策セミナー

桜友会「準会員支援委員会」(竹田裕彦委員長)では、現役学生に対する就職支援のため、学習院大学就職部および学習院女子大学就職課との連携で、「面接試験対策セミナー」を行っている。

大学独自で行われる就職支援活動にも企業・官公庁業務説明会をはじめさまざまなものがあるが、このセミナーは、実践的であるということで学生に特に好評の企画となっている。

参加学生は、昨年の実績では両大学で780名を数え、両大学における就職支援活動の柱となっている。

このセミナーの特長は、学習院卒業生

のうち企業の人事担当経験者が講師となり、本番に近い形で徹底した模擬面接を行うことにある。また、厳しい中にも同窓ということで、学習院出身者の社会でのイメージをふまえた的確なアドバイ스가好評の秘密のようだ。

表で示したのは、前回の学習院大学での2日間にわたるセミナーの時間割だが、今回もほぼ同様のスケジュールで行われる。学習院大学では、平成17年2月5～6日、9～18時、参加学生660名(昨年より60名増)を48グループで。講師各100名。女子大学では、12月19日、1月30日、9～18時。参加学生200名(昨年より20名増)を23グループで。講師各50名の予定。

FOREIGN STUDENT CENTER

留学生をわか家へ！

学習院女子大学
留学生センターより
ホストファミリーを募集。

学習院女子大学では、イギリス・ドイツ・チェコ・ルーマニア・エストニア・ポーランド・アメリカ・オーストラリア・韓国などの12の大学と交流協定を結び、交換留学を行っている。協定留学生は、半年から1年という短期間に少しでも多くの日本文化を学ぼうとするため、多くがホームステイを希望している。

そこで、学習院女子大学では、そうした協定留学生のために、家族の一員として受け入れてもらえるホストファミリーを募集している。

受け入れ家庭でも、日本文化とそこの文化の違いを実感する中で、あらためて日本という国の姿を見直すよい機会となるのでは。

ホストファミリーの登録は随時受け付けている。協定留学生15名(私費留学生79名)。協定校12校。問合せは、学習院女子大学留学生センター ☎03-3203-7203、☎03-3203-7207

活動の記録を知らせあおう!

桜のかけはし

SAKURA-NO-KAKEHASHI

卒業してからも続く交友の輪

【お便り募集】

皆様の関係する校友会の活動記録をお寄せください。写真は掲載可能な撮影状態のものをお願いいたします。掲載箇所・スペース等については情報発信委員会に一任願います。また、開催予定情報についても、できれば資料等を添えてお送りいただきますようお願いいたします。電子メールもご利用ください。校友会事務局校友会報係宛。次号締切は平成17年3月末日です。



左上/松方康名誉会長が会に先立ち挨拶。左下/会場は原宿の中国料理「南国酒家」。右/記念撮影後も再び懇談が行われました

第3回の総会を開催! 総勢51名と盛大な会に。

クロース・アップ/この校友会

三井住友海上火災保険校友会

紅葉目前の11月2日(火) 19時30分から、学習院の卒業生が経営している原宿の中国料理「南国酒家」で三井住友海上火災保険校友会の第3回総会を開催しました。当日は小雨交じりの生憎の天気でしたが、開始時刻には参加予定のほとんどの会員が集合し、昭和17年卒業の大先輩から今年入社した新入社員まで、総勢51名が会場に集い、盛大な会となりました。

会のスタイルは中国料理ならではの円卓スタイル。2名の新入社員による受付を済ませた後、各自決められた席に着き、開会前から懇談が行われていました。

19時30分、田中洋平幹事(平3濟)の司会で開会した会では、はじめに三井住友海上火災保険校友会の松方康名誉会長(昭26高)が挨拶。松方名誉会長は校友会の理事も務められていることから、校友会活動に触れられ、「同じ学校を出た、同じ会社の仲間同士の交流の大切さ」や「同窓生が一致団結して学習院

らしさを創出していくことの重要性」、「個々の才能や能力といった人間力を高め、他人に対して思いやりをもつて接し、安定した人間関係の形成」など、多岐にわたって話されました。

この後も、校友会役員候補者推薦委員長を務める山下洋二郎副会長(昭36経)や校友会評議員の内藤政忠OB代表幹事(昭41政)、依田卓弥代表幹事(昭56法)などが相次いで挨拶し、今後ますますの校友会活動の活性化について話されました。

また会の終盤には参加者からの一言コーナーや豪華賞品をかけたジャンケン大会を開催。白木博章氏(昭45政)による中締め挨拶でお開きとなりました。

平成13年に三井海上火災保険と住友海上火災保険が合併して誕生した三井住友海上火災保険校友会は、発足して4年の若い校友会ですが、毎年約50名規模の参加者が集まっています。今後さらに充実した会になっていけばと思っております。

地域

素晴らしいメンバー

ワシントン桜友会

去る7月10日、ワシントンのジャパンインにて7人の出席。その楽しかったこと。縦横の繋がりが多いことさすが学習院です。ノースカロライナから9時間運転で駆けつけた立崎さん(平14化)、バージニア・リッチモンドから土橋さん(昭34政)グレグさん(旧姓・中村、昭32高)、甲良さん(旧姓・斉藤、昭57法)、大谷さん(昭47政)、中山さん(旧姓・岩崎、昭53政)、そして私クロス(旧姓・勝山、昭36英)でした。宮下さん(平7)、ローランドさん(旧姓・



一思い出話に花が咲きました

石塚、昭58哲)は残念欠席でした。それにしてもワシントン近辺に9人とは少なすぎます。是非私までご連絡ください。

世話人 クロス美佐子
E-mail: wdcbe@erols.com

ハワイ桜友会を開催

ハワイ桜友会

去る6月3日(木)午後6時よりワイキキのローヤルハワイアンショッピングセンター内の「レストランサントリー」にて総会が行われました。平日の夜でしたが16名が集まり、楽しいひと時を過ごしました。また長年ハワイ桜友会会長としてご助力くださった井原会長が辞任され、新会長に中島吉盛さん(現JALホノルル支店長)が満場一致で選出されました。



中央は井原則(会長)と中島新会長

第2回総会を開催

ニュージーランド桜友会

2004年3月13日にオークランドの日本食レストランにて、第2回のニュージーランド桜友会を開催いたしました。懐かしい学生生活の話や現地の生活の情報交換等も交え、家族ぐるみの暖かく、楽しい食事会となりました。



3回目の総会も楽しみです

と思っております。

発足してまだ1年半と若い海外支部ですが、学習院の卒業生の輪を広げていきたいと考えております。

ニュージーランド(オークランド)にお越しになる留学や駐在の方、ニュージーランド桜友会までご連絡ください。

世話役 生田克彦(昭62法)

1年ぶりの会合を開催

マニラ桜友会

フィリピンのマニラ桜友会では、1年ぶりの会合を平成16年10月23日(土)にマニラ南部のラグナ州カプアオにあるローズ・プリンセスホームで開催いたしました。卒業生7人とそのご家族計14人が集まりました。

今回初参加の方もあり、また思わぬところで同級生も見つかり、思い出話が弾んでいました。今回訪問したのは、棟朝会長が運営するリタイアメントハウスで、第2の人生を悠々と海外で過ごす方々が住んでおられるところです。会員の中にも余生を南国フィリピンで過ごされるという方が増えてきております。

今回は、今回残念ながら参加できなかった方も多かったのですが、来年早々新年会を行おうと誓い、散会いたしました。

名誉会長 家田昌彦(昭36済)

会長 棟朝淳州(昭50英)

世話役 松岡鉄也(平5法)

E-mail: matsuka@joci.com.ph

豪校会懇親会を開催

シドニー豪校会

平成16年3月12日、ここオーストラリアのシドニーでは久方ぶりの学習院OBの懇親会が行われました。

今回の集いは、当地N.E.S.大学(University of New South Wales)との交換留学制度を行っている学習院大学国際交流センター所長の堀谷清人文学部教授のご出張をきっかけに開催されました。

当日は、急な召集にもかかわらず総勢16名の方々の参加で盛況な集いとなりました。世代を超えた学習院OB・OGの学生時代の思い出話や、卒業後のそれぞれの活躍ぶり、現在のシドニーでの生活ぶりなどの話で盛り上がり、時間のたつのも忘れるほどに和やかな楽しいひとときを過ごしました。

現在、シドニー在住の豪校会のメンバーは21名で(男性8名、女性13名)、毎年、企業関係駐在員の帰任、赴任で若干の変動はあるものの、少ない人数ながら家庭的な海外ならではの桜友会の集いを1〜2回開催しています。

桜友会の皆様もシドニーへお出かけの折には、是非一報い

ただければと思います。ご連絡お待ちしております。

幹事 山田和夫(昭50経)

ロンドン校友会開催

ロンドン校友会

ロンドン校友会を2004年10月29日午後7時より、市内のレストランで開催いたしました。当日は、ロンドン在住の方だけでなくブリストル、オックスフォード、ミッドランドなどの地方都市から宿泊覚悟でご参加いただきました。また、元ロンドン校友会会長はベルギーから駆けつけていただきました。

今回のロンドン校友会は常磐会と連絡を取り、合同で開催いたしましたので総勢25名にご参加いただき、非常に賑やかで楽しい会となりました。



活発な意見交換がされた石川の総会

出席者も昭和35年卒業生から今年卒業されたばかりの方と、非常に広範囲な年代の方が参加されました。永住されている方、企業駐在員、留学生、大学の講師で研究にいられている方と、さまざまな職業の方に参加いただきました。

ご来場の皆さんは、これだけ盛大なロンドン校友会は天皇陛下にご出席いただいた1998年の校友会以来といわれておりました。久しぶりに目白や馬場の話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。

またこのような機会を作って集まりたいと考えています。

世話役 富松利典(昭53政)

石川校友会総会を開催

石川校友会

3月26日(金)、金沢市内のアパホテル金沢駅前において、平成15年度石川校友会総会を24名の参加者を集めて開催いたしました。当日は、前田家ご当主の前田利祐氏を中心に、多種多様な話題について、活発な意見交換が行われ、予定終了時間を1時間半もオーバーするほど、大変有意義な会となりました。

石川校友会世話役

宮川知生(平55営)

総会・新年会開催します

関西校友会

関西校友会では、平成17年もさまざまな催しを予定しております。お誘い合わせの上、多数のご出席をお待ちしております。

①総会・新年会/1月20日(木) 19時、ウェスティンホテル大阪(会費1万円、申込みは益田または葉室まで)。
②二木会/毎月第2木曜19時、ガーデンシティクラブ大阪(会費6,343・7770、大阪駅前中央郵便局西入る。ハービスOSAKA 6Fホテルリッツカールトンの東隣のビル)。終了後、同所で懇親会(会費3000円)も行います。

2月10日(木) 演題「スポーツ報道」、講師 太田雅英氏(平10法・NHKアナウンサー)。

3月10日(木) 演題「創業」、講師 鈴木 昭氏(昭42化・藤沢薬品工業)。4月14日(木) 演題「損保の現状」、講師 前田英二氏(昭47経・三井住友海上火災保険)。5月12日(木) 演題「生命保険」、講師 沼田哲弥氏(昭62済・大同生命保険)。

6月9日(木) 演題「何事もすべて心から」、講師 北河原公敬氏(昭37高・東大寺執事長)。

関西校友会会長 稲山清

世話人 益田英之(昭60O7・2・694・5990)、幹事

葉室頼廣(自昭79・23・0386、勤昭6・6531・6861)

設立1周年記念パーティ

鎌倉校友会

去る11月20日(土)の18時から鎌倉市の鎌倉パークホテル・翠雲の間で鎌倉校友会「設立1周年記念ディナー・コンサート」を開催いたしました。多くの皆様にご参加いただきました。当日は鎌倉在住のピアノストでシャンソン界の大御所・芦野宏氏の専属ピアノストも務める小林ちから氏をお迎えし、多彩な演奏とディナーを堪能。鎌倉校友会設立1周年の喜びを分かち合いました。

秋の懇親会を開催

八王子校友会

八王子校友会秋の懇親会を11月20日(土)、八王子京王プラザホテルで開催しました。今回は、八王子以外に在住の武藤通章氏(昭37政)、宮崎鼎三氏(昭40経)にもご出席いただきました。講演会は、「私たちの暮らしと裁判官裁判員制度」と題し、弁護士馬場榮次氏がなさいました。続いて懇親会は、多村繁樹氏(昭42経)の乾杯で始まり、各分科会の活動など報告。突如「マーシャンの会」が発足し、佐藤完治氏(昭43数)

が会長になりました。

両陛下をお迎えした総会

四国校友会

四国校友会の総会が10月3日(日)に、香川県高松市の全日空ホテルクレメント高松で開催されました。会場には四国4県から会員約50人が集い、校友会からは亀井会長や高森事務局長などにおいでいただきました。

高松市で行われた「第24回国豊かな海づくり大会」に幸啓された天皇皇后両陛下にもご臨席いただき、参加者は両陛下とお言葉を交わすことが出来ました。また、1年間の行事報告や組織改正などが行われました。

夏真っ盛りの定時総会

佐賀校友会

夏真っ盛りの8月21日(土)、JR佐賀駅前にある「はぐれ荘」にて佐賀校友会の定時総会を開催しました。当日、佐賀校友会創立以来20有余年、世話役として会員消息の把握や資金管理などに当たってこられた内川副会長に、感謝の意を込めて記念品の贈呈を決定。当日ご都合で出席されなかつたので、後日会長と岩永世話役でお届けしました。また、今夏の総会では、新たに県内5地区での持ち回り開催が決まり、来年は唐松地区主催で行われることになりました。

職 域

出席者70名と大盛会

鉄道桜友会

毎年恒例となった鉄道桜友会が、今年は7月13日に開催されました。夏の盛りの開催でしたが、総勢70名もの参加者が会場に集いました。

ご存知のように、鉄道桜友会は関東の鉄道会社各社と関連グループ、運輸会社からなる同業種桜友会で在籍会員数は約270名を数えます。普段、同業他社の人とはなかなか話す機会もないため、業界に関する意見交換や学生時代の思い出話などを交わすことが出来る貴重な場として、毎年多くの参加者を集めています。

ています。

そんな大所帯のため、会の運営も毎年ローテーションで幹事を務め、担当幹事会社は関連ホテルや施設を会場に会を催しております。今年の幹事会社は、東武鉄道と京成電鉄が合同で担当したため、錦糸町駅前にある東武系列の東京マリottホテル錦糸町東武を会場に開催されました。

司会を務めたのは京成電鉄の林出英幸氏（平1営）。幹事会社を代表して東武鉄道の鉢木勇専務（昭37経）が挨拶。参加者に、錦糸町まで遠路はるばる来場いただいた謝辞と、鉄道桜友会が横断的に結びつく「鉄道桜友会」を親睦と業界の発展のために活用してほしい旨を述べられました。

また、桜友会からは東園基政副会長にもおいでいただきました。東園副会長も同業種による横断的な桜友会の意義性に触れられ、10万人の会員が在籍している桜友会の活性化が大切であるとお話になりました。

京成電鉄の取締役である長田泰男氏（昭39高）による乾杯の発声のあと、懇親会がスタート。合間には、ステージ上で参加各社の近況報告や恒例のビンゴゲーム大会も行われ、華やかな雰囲気になりました。

来年は、西武鉄道が幹事を担当して会が開かれる予定です。

各支店からも参加

鹿島グループ桜友会

2004年度の鹿島グループ桜友会が先の9月28日（火）、

港区元赤坂の本社にて盛大に開催されました。

会には、広島、名古屋、横浜の各支店からもメンバーが駆けつけてくださり、約40名が出席。近況報告や青春時代の思い出話などに盛り上がり、皆で旧交をあたためました。

当日は、秋山豪専務・鹿島グループ桜友会会長（昭39経）より開会挨拶、渥美直紀副社長（昭40中）より乾杯のご発声があり、今年昇格された石川洋専務（昭46初）へ記念品が贈呈され、またグループ会社へ今年入社した千原裕美子さん平16女子大より抱負が述べられました。

さらに、米国のグループ会社①KAIMA INTERNATIONAL, INC社長でもある星壁弘明常務（昭39経）が急遽、米国より駆けつけてくださり、昨今の米国事情の披露もあつて大いに盛り上がる中、日名子喬取締役（昭43済）の中締めにより盛会裡に閉会いたしました。

グループ会社の一つである鹿島リースの加地一志社長（昭35済）は今回、所用によりお見えになりませんでした。グループ会社からの参加も最近では増えておりますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

鹿島グループ桜友会が、このように極めて豊富な役員陣を輩出していることは大変素晴らしいこととあります。全国の会員の皆様の今後のますますのご活躍ご発展をお祈り申し上げます。

田村 誠（昭56政）

新しい試みに挑戦

桜友社会保険労務士会

桜友社会保険労務士会では、今年度新しい試みとして、オール学習院の集いで「年金・労務無料相談会」を開催しました。初回にも拘らず14名もの相談者にご来場いただき、参加した会員の中から分野に応じた専門家が相談員を務めました。来年以降もより充実した内容で開催致しますので、ぜひ会場へお越し下さい！

また7月24日の第8回総会には、桜友会の武藤通章常務理事にもご来場いただき、17名の会



今年は約70名の参加があり大盛況



立食スタイルで懇親を深めました



本社内で開催。全国の各支店からも！



7月に開かれた第8回の総会

員が参加しました。会の今後のあり方も含めた活発な意見交換や近況報告が行われ、有意義で楽しい会となりました。

天野朗子（平8史）

日立目白クラブに集う

日立製作所校友会

平成16年10月14日（木）、「日立目白クラブ」において日立製作所校友会が開催されました。当日は学習院校友会から御多忙の中、武藤通章常務理事のご出席をいただき、OB・OGの方々も含め総勢51名が出席し懇親を深めました。

現在、当社の校友会正会員は約160名を数える大所帯となり、東京地区、海外、支社、研究所など各地で勤務しています。50名を超える会員が出席したのは、世代を超えた同窓生の結束の強さを物語っているように思います。

今年度から会長には花村修三事業部長（昭46経）、幹事長には藤井和久部長（昭56政）が就き、今後この会をさらに盛り立てていくことにしています。

開催場所の「日立目白クラブ」は旧制学習院高等科の寄宿舎として建てられた「昭和寮」で、東京都の歴史的な重要建築物「未来に残したい100の建物」に指定されています。現在では当社の福祉厚生施設として利用さ

れていて、一般の人は立ち入ることが出来ない貴重な場所です。学習院にゆかりが深いことから、今後もこの場所を日立製作所校友会の集う場所としていきたいと考えています。

浮田秀明（昭59政）

サークル

45周年OBめじろ寄席

落語研究会OB会

人間国宝の故柳家小さん師匠を顧問として仰ぐ「落語研究会」も今年で創立45周年を迎えることができました。

これを機にOB・OGが一念発起。現役大学生の力も借りて卒業生の企画・出演による45周年記念興行「OBめじろ寄席」



OBめじろ寄席の出演者全員で

を去る5月9日（日）に、池袋・豊島区民センターを会場に開催しました。

当日は、現在、ご指導を賜る柳家小団治師匠、当研究会出身の柳家喜多八師匠も特別出演。「落語」に「お囃子」に「寄席文字」に、かつての落語小僧には「真面目ニヤレ」の初心に戻る一日と相成りました。

創立45周年を迎えた落語研究会のOB会の在籍者数は約200名。近年では、会報誌の発行や「オール学習院の集い」の時の懇親会、ゴルフコンペなどで会員の親睦を図っています。

最後になりましたが、この度はOBめじろ寄席に多数のご来場をいただき誠にありがとうございました。



小さん師匠の心意気を体現

往時“青春”

戯曲研究会

戯曲研究会は昭和28年に発足、50周年を契機に当メンバーの会を4月24日に目白駅近くのレス

トランを借り切り、行いました。

当会は60年安保以降の過激な学生運動の波に巻き込まれて約15年間の歴史で終わっています。約150名のメンバーがおります。中に演劇をはじめ表現芸術の世界で活躍中の人もおります。

当日は、卒業後の長い空白にも関わらず57名出席の大盛会となりました。三つの世代に分けて各々が当時の活動、珍事を報告、特に当会消滅の経緯は改めて当時の世相を思い起こすこととなりました。

還暦過ぎの人が大半でありましたが、往時を思わせる若々しい集いとなり、次回を楽しみにして散会となりました。

川瀬量平（昭34経）



集合写真も分けて撮影するほどの盛況でした

設立55周年記念大会

観世会部

平成16年10月2日（土）に学習院観世会部の設立55周年を記念して「観世会部設立55周年記念大会」が、百周年記念会館小講堂で開催されました。当日はOB・OG、現役学生を合わせて約80名が集まり、設立を祝いました。

学習院観世会部が誕生したのは、新生学習院が設置された昭和24年。以後、プロの能楽師も輩出する集団へと発展しました。来る12月23日（祝）には、学習院大学観世会部創立55周年記念の舞台も行う予定です。

50周年のイベント

OB管弦楽団

春と秋2回開催されているOB管弦楽団の定期演奏会が12月5日（日）、創立百周年記念会館正堂で開催されました。

今回の定期演奏会では、過去何度となくOB管弦楽団と共演し、名演を生み出している今村力氏を指揮者に迎え、ベルリオーズの「幻想交響曲」やデユカの交響詩「魔法使いの弟子」など計3曲が演奏されました。メンバーは約半年間、練習に精進した結果、記念すべき50回目のコンサートにふさわしい華やかな演奏が披露されていました。

和やかな50周年懇親会

女子部ソフトボール部

女子部にソフトボール部が誕生して半世紀。それを記念して11月14日(日)、女子大学の互敬会館で「五十周年懇親会」を開催しました。卒業生の会は三振にかけ、三親会と申します。

当日、来賓に監督も務めて頂いた歴代の顧問の先生、女子部科長の稲田先生はじめ、初代コーチでサッポロビール社長の福田貞男さん(昭40経)や歴代コーチをお迎えし、現役も含め約90名が集う盛大な会となりました。会では来賓のご紹介、第2回卒業の三浦美喜子副会長の挨拶に始まり、ゲームや現役の紹介、近況報告などが行われました。会場内のあちらこちらでは先

生、コーチ、そして先輩、後輩を問わず、談笑する輪が数多く見られる和やかなムードでした。

当日はご公務で欠席でしたが、常陸宮妃華子殿下も名誉会員であるこの会。今後も現役への支援、そしてまたの再会を約束し、散会となりました。

40周年記念式典開催

高等科洋弓部

学習院高等科の洋弓部が創立40周年を迎えたのを記念して、12月12日(日)の13時から、目の学習院高等科生徒ホールにて、高等科洋弓部創部40周年記念式典を開催いたします。当日は、歴代顧問の越田稜先生(昭35政)や島居士郎先生へのお礼の会も同時に開催する予定です。懐かしい先生や先輩・同輩・後輩に会いに是非ご参加ください。《連絡先》学習院高等科洋弓部後援会事務局・高泉洋(昭60法)。

E-mail: yuksel@so4.itcom.net

同笑会クラブへどうぞ

同笑会

学習院高 男女中・高等科演



懐かしのユニホームも展示されました

劇部の卒業生を中心に作られた同笑会では、毎月第3木曜の18時から「同笑会クラブ」を開催。毎回OB・OGが15名前後集い、食事をしながら旧交の輪を温めています。今年最後の会は、12月16日(木)渋谷のレストラン「ウエスト」(☎03・3400・0428)で開催します。

会費3000円。連絡先 鈴木喜久男(昭41政) ☎046・841・6203

学年・ゼミ

北山財政ゼミ4月総会

北山会

今年、第1回の卒業生から半世紀を突破した北山財政学ゼミのメンバー(昭和28〜47年の卒



今年51年目を迎えた「北山会」

硬式野球部元監督

坪井忠郎氏のご逝去

学習院大学硬式野球部の坪井忠郎元監督(昭和7年旧制高等科卒)が、長らくご療養中の所、10月23日(土)夜、板橋区の舟渡病院にて肺炎のためご逝去されました。坪井元監督は明治43年10月22日のお生まれで、お誕生日の翌日、享年94歳で他界されました。

会人野球協会の審判員、野球規則委員、審判技術顧問等を歴任され、昭和41〜46年には東京大学野球部監督、昭和51〜56年には本院大学野球部監督に就任されました。

また昭和55年には、アマチュア野球への功労として朝日新聞社の「朝日体育賞」を受賞されました。非常に永きにわたって本院野球部発展にご尽力された大先輩です。大変残念ではありますが、ここに謹んでご冥福をお祈りすると共にお知らせさせていただきます。

学習院野球部OB会 常任実行委員 西尾 誠(昭57済)

その後、昭和20年代後半より平成初期に至るまで、アマチュア野球(東京六大学野球連盟・高等学校野球連盟・社

業生)による「北山会」。今年度の総会は4月17日(土)に、東京・銀座の船室を模したレストランで行われました。

ここ数年、コメンテーターがキースピーチを行い、それを基に全員で意見を交わす形をとっていましたが、今年は昭和36年卒業の鷺見周氏が、ボランティア現場から見た日本の自然をテーマに、キースピーチを行いました。このゼミで初めての環境問題です。

山が好きだった北山教授のお弟子さんだけに、次々と美しい高山植物のパネルを示しての話は面白かったし、自然保護と人間生活との折り合いをどうつけるか、21世紀に生きる我々への永遠の課題提示でもありました。

金原 徹一(昭34経)

第15回秋季旅行

櫻二五会

恒例の秋の旅行、今年は10月5日から8日まで中国地方へと

江田島の幹部候補生学校にて



出掛けました。今回はいつもと異なつて、ずっと広島に宿をとり毎日方々へ。大変楽でした。早朝、羽田を出発。荷物を預け、身軽な気持ちで厳島へ。生憎、台風の影響がひどく昇殿拝礼は出来ませんでした。昼食は名物の穴子を満喫し、ゆつくりと秋の宮島を散策。翌6日は、広島港と名前の変わった元宇品港から江田島へ向かいました。今は海上自衛隊関連の施設ですが、「第一術科学校・幹部候補生学校」を見学。昨年同様、大久保君の手配によつて、約5時間、広報係長に付きつきり案内していただき、戦前の正堂を想わせる「大講堂」や幕末からの歴史的展示品のある「教育参考館」も中の中まで拝見することが出来ました。

さらに、ご多忙の泉校長や中塚副校長、江田島の写真を親子2代で撮り続けている眞継美沙さんとも面談。大変有意義な一日を過ごすことができました。昼食は生徒食堂で、夕食は音戸の瀬戸の鯛料理で有名な戸田屋でちよつと贅沢に。

7日は、平和公園・原爆ドーム・広島城・縮景園と廻り、夕方、帰京組とオブション組とに別れ、後者は和食の続いた体に給油。8日は、台風の影響で中尾道からジャンボタクシーをチャーターして「しまなみ海道」を。途中、生口島のシトラスパークに立ち寄つた後、耕三寺は窓から眺めて大三島へ。大山祇神社に参拝して、一路尾道ラーメンを目指して朱華園へ。先光寺・浄土寺に参詣。テレビで有名になった「かねみつ」で土産を買い、広島港へと向かいました。相変わらず、年の割りによく食べ、よく飲み、ホテルのバーには毎夜訪れてバーテンと仲良しになった次第です。毎月、第3水曜日は霞会館に20名位集つていますが、会員外でもウェルカムです。是非「事務連絡先」霞会館 付 櫻 三五会

日露戦争百年

理二九年会

大学卒業五十周年記念の会合

は6月1日に霞会館で行われましたが、一方、昭和25年に理学部に入學したメンバーは、学部が変わろうが、卒業が遅れようが、昭和31年から毎年1回の会合を持ってきました。数年前からは、1回では物足りず、夏も入れて2回ということでも集つてきましたが、今年は、日露戦争開戦百年ということもあつて、靖国神社に参拝しようとの話がまとまり、8月13日に該当者27名中、14名が集合。昇殿参拝を行いました。靖国神社は中学生の時代以来という者もあり、遊就館も見学し、白鳩と戯れた後、近くの食事処で半年振りの旧交を温め、例によつて二次会へと繰り出しました。

次回は、1月末を予定しておりますので、該当すると思われる方は、遠慮なく幹事までお申し出ください。

《連絡先》草野和雄（昭29化）
☎& 044-922-5566



靖国神社では昇殿参拝を行いました

桜友会全国・海外支部連絡先（平成16年4月現在）

各地に桜友会の輪をつなぐお世話役がいます。

支部名	世話役氏名	自宅電話	支部名	世話役氏名	自宅電話
ハワイ	柏原 恵理（昭58営）	1-808-531-0624	新潟	藤田 史彦（昭62史）	025-269-3583
カナダ	稲垣 長映（昭24高）	1-604-986-5509	富山	朴沢 真理（昭44短国）	076-492-4833
サンフランシスコ	戸田 美幸（昭56経）	1-415-441-4041	石川	宮川 知生（平5営）	076-264-0161
ロサンゼルス	ヒグチ 雅子（昭59済）	1-323-467-5066	福井	内藤 俊三（昭46数）	0778-34-0782
シカゴ	原嶋 正孝（昭34高）	1-847-446-1750	山梨	常盤 幸久（昭58化）	055-284-4696
ニューヨーク	馬越 恭弘（昭50経）	1-212-688-4358	長野	木内 春夫（昭46経）	026-221-5017
ワシントン	（会）CLOSE美佐子（勝山）（昭36英）	1-301-262-3946	静岡	飯野 昭彦（昭39経）	054-258-5213
ロンドン	富松 利典（昭53政）	440-208-737-4401	東海	後藤 安邦（昭40経）	052-832-5160
パリ	岡部 昌史（昭51仏）	33-1-4260-7510	関西	益田 英之（昭38化）	072-694-5990
オランダ	正田 敏郎（昭61法）	31-10-458-3568	山陰	吉田 千恵（昭39政）	0859-22-9214
ベルックス	寺尾実栄子（昭30物）	32-10-45-1837	岡山	有松 宏（昭42政）	086-264-5769
ミュンヘン	（会）Koerper H. 房子（昭37英）	49-08151-51179	広島	小田賢太郎（昭45経）	082-282-6257
バンコック	竹内 正（昭48政）	66-2-391-4382	山口	波多野知三（昭40物）	0836-31-5535
シンガポール	小田 康人（平4営）	65-338-0388	四国	服部 光成（昭32経）	087-876-2018
マニラ	松岡 鉄也（平5法）	63-2-818-1992	香川	上戸 文洋（昭46政）	0817-22-7313
台湾	富田啓一朗（昭62営）	886-2-2872-3299	徳島	黒田 浩司（昭58経）	088-655-7190
豪桜会	（会）宮地 謙（昭43物）	612-9326-2467	高知	石川 征（昭41国）	088-832-4216
ニュージーランド	（会）生出 克彦（昭62法）	64-9-373-5958	愛媛	中村 晋（昭39政）	089-984-2239
香港	世良田紀子（昭60営）	852-2633-0550	福岡	稲田 伸征（昭47法）	092-691-5077
上海	古茂田木立（昭58史）	0086-21-3886	北九州	中居 博己（昭47経）	093-521-4405
北海道	児玉 真澄（昭48政）	011-384-4386	佐賀	友廣 一雄（平8政）	0952-31-2018
青森	畑中 綾子（昭50英）	017-741-5179	長崎	今村 壽勝（昭37政）	095-826-4668
岩手	齋藤 健一（昭45政）	019-653-1850	熊本	石原光太郎（昭44経）	095-371-2211
宮城	伊勢 泰昌（昭61英）	022-227-4367	大分	伊勢 亜信（昭41経）	097-546-5856
秋田	石井 博雄（昭61営）	018-862-1138	宮崎	阿部 信一（昭58法）	0985-59-1178
山形	鈴木 正明（昭58法）	023-623-5213	鹿児島	富田 莞爾（昭42経）	099-246-3110
福島	小泉 修一（昭48法）	024-523-0901	沖縄	安慶出久園（昭51政）	098-850-5956
茨城	服部 充雄（昭42化）	029-273-5989	東京中央	渡邊 琢仁（昭38経）	03-3414-6882
栃木	多々良 清（昭47経）	028-622-6854	江東	笹本 英之（昭58経）	03-3643-0809
群馬	宮内 隆右（昭33政）	027-231-7597	新宿	笹山 健一（昭50経）	0422-49-4655
埼玉	川村 郁夫（昭49法）	048-641-3125	八王子	村田 寿一（昭38経）	0426-45-2327
千葉	北川 卓（昭45経）	043-227-2760	府中	難波 茂丸（昭39政）	042-302-8329
神奈川	勝 治雄（昭54営）	045-625-0288	鎌倉	石島 道章（昭35経）	0467-22-3849

*上記のほか、湘南桜友会が平成16年6月に発足しました。

Democracy with a Gun 銃を持つ民主主義

「アメリカという国」のなりたち

松尾文夫

『銃を持つ民主主義』

松尾文夫・著（昭31政）

小学館・刊

定価1500円＋税

ジャーナリスト／昭和31年学習院大学政治学科卒業。共同通信入社。入社後ニューヨーク、ワシントン特派員、バンコク支局長、ワシントン支局長を経て、共同通信マーケティング社長などを歴任。平成14年5月ジャーナリストに現役復帰。知米ジャーナリストとして活躍中。本書で平成16年度日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。

桜友会ライブラリー

新刊ブック ガイド

学習院卒業生の最新著作を紹介！

平成16年度日本エッセイスト・クラブ賞受賞作
知っているようで知らない
「アメリカという国」のこと。

サブタイトルにある「アメリカという国」が本書では多岐にわたる。アメリカ合衆国でもUSAでもない「アメリカという国」。著者は、その国をマスコミ報道で使われている記号に近い国名で呼ぶことを意識的に避けている。それは共同通信記者としてアメリカを長年にわたって取材してきた者の、多くを知るがゆえの独特な語法だろう。それはまたジャーナリストの立場が要請する厳密な客観表現でもあるようだ。

本書は平成16年度の日本エッセイスト・クラブ賞受賞作だが、受賞の言葉に「知っているようで知らない」とある。で知らないアメリカ、そこそこだわりたいという一節がある。そういわれてみれば『銃を持つ民主主義』というタイトルそのものが、まさに「知っているようで知らない」ではないか。豊富な取材事例でアメリカ流民主主義が明解に語られるが、一方で、プロローグで示された自身の東京・戸山での空襲体験、疎開先福井での被爆体験が、通底音のように響きつづけているところに本書の作品としての魅力がある。著者の気持ちの中で、断定できない「アメリカという国」が存在しつづけているのがシリアスに実感できるのだ。

『ホスピタリティの原点』

五ツ星ホテルの高級サービス
ホスピタリティの原点



青木孝誠・著（昭30英）

黎明出版・刊

定価2400円＋税

長崎国際大学国際観光学科教授／学習院大学英米文学科卒業。同志社大学修士課程（英文学）修了、ミシガン州立大学HRIM（ホテル経営学）学科卒業。

ホテルニューオータニで接客業務の現場に携わってきた青木氏が、ホスピタリティ・マインドの重要さを説き、その実例を取り上げる。世界の五ツ星ホテルや接客業を見ながら、その問題点と参考になるべき点を解説していく。仕事上の接客だけでなく、ふだん人と接する上で気持ちを新たにしたいくなる好書だ。

ルや接客業を見ながら、その問題点と参考になるべき点を解説していく。仕事上の接客だけでなく、ふだん人と接する上で気持ちを新たにしたいくなる好書だ。

おじいちゃん 「わが闘争」

中條高德



中條高德・著（昭27政）

致知出版社・刊

定価1500円＋税

アサヒビール名誉顧問／陸軍士官学校、旧制松本高校を経て、昭和27年学習院大学政治学科卒業。アサヒビール副社長、アサヒビール飲料会長などを歴任。

時にユーモアを交えて、時にゲンコツで殴られるような厳しさで叱られる。しかし、愛情たっぷりのハートがどこかに感じられ、心地よさが最後に残る。

中條氏自身の半生を振り返りながら、自らの健康や家族や仕事、そして日本の国家や教育、歴史まで時々の思いを書き綴った人生論。

『おじいちゃん「わが闘争」』



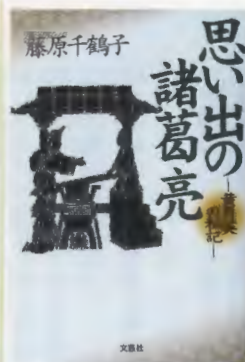
若林良和・著 (昭56政)
成山堂・刊
定価1600円＋税

『カッオの産業と文化』



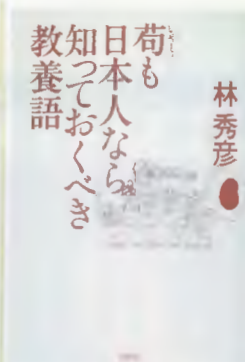
飯田和夫・著 (昭35政)
鳥影社・刊
定価1500円＋税

『激動の樺太より生きて祖国に帰還して』



藤原千鶴子・著 (昭39国)
文芸社・刊
定価1700円＋税

『思い出の諸葛亮』



林 秀彦・著 (昭28高)
PHP研究所・刊
定価1300円＋税

『荷も日本人なら知っておくべき教養語』



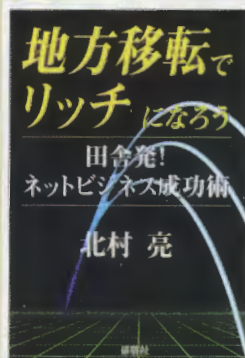
飯高 茂・著 (数学科教授)
岩波書店・刊
定価780円＋税

『パソコンで開く数の不思議世界』



岡本 誠・著 (昭39経)
春風社・刊
定価1905円＋税

『テムズ川ウォーキング』



北村 亮・著 (昭51政)
郁朋社・刊
定価900円＋税

『地方移転でリッチになろう』



大矢芳弘・著 (昭62法)
森話社・刊
定価3200円＋税

『歌舞伎リアルタイム』



植西 聰・著 (昭44経)
PHP研究所・刊
定価760円＋税

『隠された人間関係の成功法則』



有賀 忍・著 (昭43経)
サンパウロ・刊
定価1000円＋税

『はしの よる』



川越ふさ・著 (昭41法)
伊吉書院・刊
定価1429円＋税

『朱夏を旅して』



古庄 信ほか6名・著 (昭60院英)
教育出版・刊
定価1600円＋税

『Practice English Grammar』



川合佳子・著 (昭59短国)
幹書房・刊
定価1000円 (税込)

『ふちやふちや じゃんぐる』



水谷有美・著 (昭54国)
新風舎・刊
定価1000円＋税

『星の時間』



竹井隆人・訳 (平3政)
集文社・刊
定価2300円＋税

『ゲートッド・コミュニティ』



小倉慶郎・訳 (昭62院英)
新潮社・刊
定価3620円

『奇跡の人ヘレン・ケラー』

第46回総会を終えて

ぶみなど

第46回総会を終えて

雨上がり薄日の差す6月13日(日)、第46回総会は会員201名出席のもと赤坂プリンスホテルにて開かれました。

総会の部においては、杉浦会長より草上会の1年を振り返った感想とさらなる活動の活性化・財務の健全化に努めるとの方針が語られました。続いて各担当より平成15年度の活動・決算報告がなされ合わせて監事が紹介され、平成16年度の活動予定(案)・予算(案)が承認されました。次に会則改正についての質疑応答があり、第二条を保留して承認されました。会則改正にご尽力いただいた鈴木弘先生(元学習院女子短期大学教授、現弁護士)にもご出席いただきました。また、会員の方々に親しんでいただきますよう教養講座講師の紹介をいたしました。活発な意見交換もあり、より良い草上会にとの思いが溢れる中、無事第46回総会は終了いたしました。



赤坂プリンスホテルでの総会

ス料理は、落ち着いた雰囲気とともに和やかさが各テーブルより伝わってくるものでした。今回進行上の都合により会食後となつた講演は会員からぜひとのことのお声があり、波多野敏雄女子大学学長に海外での豊富な経験とユーモアを交えながらお話をさせていただきました。

学生時代にタイムスリップしたような楽しいひと時を会員の皆様方と分かち合えた喜びを胸に、来年の出席をお約束しながら閉会となりました。

これからも、おひとりでも多くの会員の方々と活動とともにできますことを願いつつ種々の活動にご参加下さいますようお願い申し上げます。

(総会担当 23・36 回生)

二二二
学習院女子大学にこの秋
新校舎と図書館が完成！
エスカレーターが設置された
新校舎には屋上庭園も。

第47回総会へのお誘い

日時・平成17年6月25日(土)
会場・赤坂プリンスホテル
講師・東海林のり子氏
(テレビレポーター)

お仕事をお持ちの方々からのご希望もあり来年度は土曜日の開催といたします。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。詳細は次号をご覧ください。

(担当 24・37 回生)

バザー開催のご報告

9月22日、お天気にも恵まれ恒例のバザーを開催いたしました。お味噌・和洋菓子などの食

料品や食器などの日用品類から、手作り品コーナーではピアズのアクセサリやエプロン・袋物に混じり、桜の焼印入りのマドレーヌ等たくさん種類の品が揃い、会員やご近所の方々が大勢買いに来て下さいました。買い物後はテイルームでゆったり談笑される方も多く大変嬉しく思いました。会員の皆様のご協力のお蔭と感謝しております。来年もぜひお出かけ下さい。

和祭に参加して

10月23・24日の両日、女子大和祭に今年も参加いたしました。今年のテーマである「わに因み、日本伝統の和を皆さんに感じていただけたら」と、香道の話、華道、茶道、書、盆石、日本舞踊等の実演と展示の場を設けました。大勢の方においでいただき、とりわけ、若い方達や留学生が多数お見え下さった事は嬉しい限りです。手話のダンス、石鹸のデコパージュ作り、手作りお菓子のテイルームも喜んでいただいたようでした。



日本の伝統の和を伝える「和祭」。留学生の来場も

ご報告とお礼

平成15年度総会以来、皆様にお願ひしご賛同を得て続けてまいりました「学習院女子大学新教室棟落成記念お祝い金募集」は、平成16年10月末日をもって締め切らせていただきました。お蔭で、女子大学2号館となる新教室棟「やわらぎホール」(500名収容)に第18代院長安倍能成先生にいただいた「草上会」の文字を刺繍で記した引き割帳を寄贈することができました。会員の皆様のご協力に感謝しご報告申し上げます。

故 岡本 通先生からご生前よりのご意志で、草上会にご芳志を頂戴いたしました。

先生は昭和17年より学習院に奉職され、短大では教授として英文学史を担当されておられました。昭和59年のご定年退職後も、卒業生との心温まる交流を通じ短大を、そして草上会をとっても大切にお思い下さいました。心からお悔やみ申し上げ、草上会のために有意義に使わせていただきましたと存じます。

先 162-8650
合 新宿区戸山3-20-1
問 学習院女子大学・草上会事務局
連 03-3203-6476
絡 03-3203-0076

卒業生インタビュー



津村節子

作家(昭和28短国/2回生)

「自選作品集」(全6巻)を、
1月より毎月刊行予定。

井之頭公園の雑木林に囲まれた静かなお宅をお訪ねしました。

* *

Q お作品の中に、文章を女学校の時の国語の先生に見ていたのだとありますが、その頃から書く事がお好きでいらしたのですか？

作文の時間はありましたが、それ以外に自分が今書きたいと思った事を書いて持っていたんです。先生が必ず書いて下さる感想を励みにしていました。書きたい事がいっぱいありましたからね。

Q 洋裁をしていらしたそうですが、「いつか小説を書くぞ」と思い続けていらしたのですか？
そう思っていたわけじゃないんです。子供時代、体が弱くて家に籠りがちでしたから、楽しみは本を読むことと書くことしかなかったんです。本ばかり読んでいたので、周りから「節子ちゃんはお小説家になったらいい」と言われてまして。自分でも体が弱くて結婚もできないから家について小説を書いていようと思っていました。戦後はドレスメーカー女学院を出て、疎開先で洋服店をしていました。もつと真剣に洋裁をやっていたら、ハナエ・モリさんみたいになっ

ていたかもしれないですよ(笑)。もう一度勉強し直したい

と思ひ短大に入って、それから文芸部を作って「はまゆづ」を出し、大学の文芸雑誌「赤繪」に小説を書いていました。卒業後も色々個人誌に関わって、そうですね、書いていなかったのは戦時中だけでした。あの頃の目的は戦争に勝つことだけで、小説を書く余裕などありませんでした。明日死ぬかもしれない時代でしたから。

Q 歴史小説をお書きになるには準備に相当の時間がかかると思いますが、書かれる醍醐味はどこにあるのですか？

短編には短編の面白さがあるんですよ。人生の断面を切り取ってみせる。短編は腕の見せどころですね。歴史小説や伝統工芸を扱った小説は、じつくり腰を据えて、時代背景から社会情勢、気候風土を踏まえて書かなければならないのです。ビル建設のように土台がしっかりできてないと書けません。調べ終わると半分書いたも同じで、準備が大変なんです。

連載ですとそれから1年、2年かかりますから達成感はありません。

Q ご夫妻で小説家でいらっしゃいますが、良い点は何ですか？
歴史小説では協力やアドバイスを受けられるのですか？

光太郎と智恵子のように、芸術家夫婦というのは理解があるでしょうが、一方が強烈な才能があると、輝く太陽のそばの月のように片方が萎縮するということがあるのでしうね。それに挫けないくらい精神が強いと一緒になれるものではないですよ。私が「智恵子飛ぶ」を書いたのも、やつぱり、同じ屋根の下に物を書く夫婦がいるわけだから智恵子の気持ちに手が取るように分かって辛かったです。小説家同志、一緒にいたってひとつもいい事はないですよ。お互いの協力でより良いものができるわけではないんです。

す。この題材はおまえ向きだとアドバイスしてくれる事はありませんが。第一、お互いの作品を読まないんです。それをしないのがいいんじゃないでしょうか。まあ、理解はありますね。家の事より仕事をしろと言いますから。

Q 物を書く方は、締め切りに追われ大変だと聞きますが、ストレス解消法などはありますか？

期限を切られるというのは大変ですよ。ストレスの連続で太れないんですよ。書き上げるとワーツと発散したいから、旅行とか芝居を観に行くとか。学習院演劇部の仲間、寺崎裕則さん(日本オペレッタ協会会長)のオペレッタ公園は毎回見に行っています。

Q 先生のお作品は5つのジャンル(私小説、虚構小説、歴史小説、伝統工芸小説、評伝小説)に分かれるそうですが、これからその中のどれかに重きを置かれるおつもりはおありですか？
いいえ。どれもやりたいんですよ。書きたいテーマがあれば何でも書きます。

Q お好きな言葉を教えてください。
長与善郎の作品の「竹沢先生という人」の中に、「熱願冷諦」という言葉が出てきます。何かやる時には情熱を込めて一生懸命努力する、そしてどうしても叶わない時はすっきり諦める。

そう意味なんでしょうね。物を書く人間だけではなく、いい言葉だと思っています。

* *

戦争時代の事、学習院時代の文芸部のお話、ご主人様(作家・吉村昭氏)のお話などたくさんお聞きし、各地の取材や窯を訪ねた時の写真も見せていただきました。津村さんの、小説に対する情熱や主人公に対する思いが強く胸にひびきとても感動いたしました。来年1月19日から「津村節子自選作品集」(全6巻)が毎月、岩波書店より出版されます。50年間書き続けてきたお作品を改めて読み直し、ご自分で生きてこられた証しとなるものを選び出されたそうです。貴重なお時間を割いていただきました心から感謝いたします。

PROFILE

昭和3 (1928) 年	福井市に生まれる
昭和14 (1939) 年	東京へ転居
昭和16 (1941) 年	東京府立第五高女入学
昭和22 (1947) 年	ドレスメーカー女学院入学
昭和26 (1951) 年	学習院女子短期大学国文科入学
	在学中に同人誌「学習院文藝」に「赤繪」に参加
昭和28 (1953) 年	吉村昭氏と結婚
昭和39 (1964) 年	『さいはて』により新潮同人雑誌賞を受賞
昭和40 (1965) 年	『玩具』により芥川賞を受賞
平成2 (1990) 年	『流星雨』により女流文学賞を受賞
平成10 (1998) 年	『智恵子飛ぶ』により芸術選奨文部大臣賞を受賞
平成15 (2003) 年	恩賜賞日本藝術院賞、日本藝術院会員

法学部同窓会講演会
平成16年7月3日/百周年記念会館にて

城と法律と人生と

森山英一 (昭34政)

元福島地検検事正、
現中野公証役場公証人



「法律家として」

子どもの頃から歴史が大好きで、歴史家になろうと思っていた。検事だった父が早く亡くなり、一人っ子で皆が法律家になることを期待した。大学に進学して、司法試験の受験を決意したのが高等科3年の時である。

昭和30年に小田成光氏が大学在学中に初めて試験に合格した。その後、毎年のように合格者が続出した。試験のために結成された法学研究会に入部し、勉強したが、受験者が少数で効果が上がらない。当時大学の先生方

もあまり熱心ではなかった。困ったのは卒業してから仲間と勉強する場がなかったことである。部外者に開放されている中央大学の答案練習会に参加し、明治大学の研究会の聴講生にもなる。多数の研究会があり、合格者数を競っていた。大学の支援体制や設備が整っていることに驚嘆した。試験には3回目に合格した。

試験が難しくなり、合格者が高齢化し、試験の改革が進められている。当時は合格後2年間の司法研修所教育で知識が平均化され、法曹としての一体感が養われたが、新制度では1年間もなく、研修所の良さが失われてしまう。アメリカのロースクールのようによつて評価が定まってしまうのではないかと。

検事は独任制の官庁（一人で国を代表する）であり、公益の代表者である。オーム真理教の解散請求は検察官が行った。

33年間検察官を勤め、現在は公証人をしている。公証人は11世紀のイタリアに起源し、文学作品に多く登場している。仕事は公正証書作成であるが、最近では遺言・離婚等予防司法的なものが多くなっている。

「城の話」

昭和19年戦局が急速に悪化し、学童疎開も始まった。幸い

父の転勤で仙台に行くことになった。その頃の仙台は、城下町の面影がよく残っていた。官舎の前の広瀬川を隔てて仙台城の大手門が見えた。当時の仙台は軍部で、仙台城には第二師団の司令部が置かれていた。大手門は伊達政宗が豊臣秀吉から肥前守護屋城の大手門を拝領したといわれ仙台の象徴である。昭和20年7月の戦災で消失し、現在まで復元できていない。

父の弘前出張で弘前城の絵葉書をもらい、ひどく感激する。城がすっかり好きになった。父に頼んで各地の城の絵葉書を集めてもらった。城の絵を描き、城に関する本を集め、歴史書を読むなど、だんだん病膏肓に入る。昭和21年7月に帰京した。

輔仁会の部で高等科に史学部があつたが、中等科の生徒も参加できるというので入部した。活動内容は考古学で意外に思った。先輩には岡田茂弘、徳川義宣、永田良昭現大学長ら諸先輩がおられた。発掘調査などの合宿もあり体育会系と同じ生活で、今でも親しく付き合っている。

大学入学後、司法試験に合格するまでは城の研究は休眠した。司法修習生になって、日本城郭協会に入会した。江戸城や外国の城にも関心をもった。明治維新の城が現在どうなっているのか誰も調べていない。まず、

城の法制から調べてみたらどうだろうかと考えた。昭和45年に『名城と維新——維新とその後の城郭史』を自費出版した。平成元年に50歳になった記念に明治維新のときに存在した約340の城と陣屋の維新後の変遷と現状をまとめて『明治維新廃城一覽』として新人物往来社から刊行した。現職の検事が城の本を書いたというので、各新聞で取り上げられた。仕事が忙しい時は3、4年も城の研究を中断した。転勤を利用して地の城や陣屋を巡った。また、検事の捜査権と個人の調査の落差に驚いた。検事が捜査で手に入らないものはないが、個人で研究するとそうはいかない。

人間は暇だとももしない。自分を制約するものが刺激剤になる。自分を打ちつようなものがないとなかなか事はできない。研究の成果としては、関連した事項に関心が広がっていくことである。城に関連して軍事、芸術、宗教など色々な分野に興味を持った。城は歴史がわからないと理解できない。西洋史をかなり学んでようやくヨーロッパの城をいくらか理解できた。

《お知らせ》

平成16年7月3日の第11回総会で、前田兼利氏（昭35政）が新会長に就任しました。

行事のご案内

常磐会では来年もさまざまな企画を予定しております。校友会員の皆様もどうぞお出かけください。

◎チャリティー講演会

講師/大塚宣夫氏（青梅慶友病院理事、黒川由紀子氏（慶成会老年学研究所所長）
演題/「豊かな最晩年を創る」
日時/平成17年3月17日（木）
13時30分〜15時
会費/2000円
場所/百周年記念会館3階小講堂

◎オール学習院の集い

常磐会教養部の四科展（茶道、華道、書道、盆石）を開催。各科が日頃の研鑽の成果を発表いたします。

日時/平成17年4月17日（日）
場所/百周年記念会館小講堂
◎チャリティーバザール
会員手作りの品や寄付品、会員の関わる商品の販売をいたします。

日時/平成17年4月27日（水）
場所/百周年記念会館1階ホワイエ

《問合せ》常磐会事務局

TEL 03-3982-1687
E-mail gaku-shin-
tokiwakai@dream.ocn.ne.jp

「辻邦生展」開催

作家／元学習院大学
フランス文学科教授

数々の作品を生み出した
想像の力を感じる。

学習院大学史料館第24回特別
展として、辻邦生展が平成16
年12月11日まで開催。

辻邦生氏は東京大学大学院を
卒業後、昭和31年に31歳で学習
院大学フランス文学科非常勤講
師となりました。その後、フラ
ンス留学などを挟み、昭和50年
には文学部教授になり、平成3
年までその職にあり、作家とし
て多忙な日々を送りながらも、



作家人生と併行して学習院で過ごした
辻邦生氏。学生にも人気があった

授業では決して手を抜かない内
容の濃さは学生にも有名でした。
しかし残念ながら平成11年7月
29日に滞在先の軽井沢で心不全
のために亡くなされました。

展示では「書くこと教えるこ
と」「II作品が出来るまで」「春
の戴冠」を題材として「III書く
中で生み出されたもの」「IV書く
こと描くこと」「V作品の数々」
と5つのテーマに分けられてい
る。貴重な目録原稿などもあり、
旧制松本高校演劇部時代の写真
では、イプセンの『幽霊』でアル
ヴィンク夫人を演じた辻氏の、
本当の女性かと見間違えるよう
な整った顔立ちの美男子ぶりを
見ることが出来ます。平成7年
に百周年記念会館で行われた学
習院史料館講座での講演風景な
ども上映されていました。

今
回
展
示
さ
れ
た
も
の
以
外
に
も、

辻家から寄託された約2万
件の史料が「辻邦生史料」とし
て学習院大学史料館で保管され
ています。

退任の先生方の 最終講義の ご案内

英米文学科

平成17年1月15日

英米文学科では平成17年の3
月をもって、今井邦彦教授、武
田千枝子教授、寺門泰彦教授が
定年を迎えられます。

最終講義は1月15日（土）13
時より今井邦彦教授、14時半よ
り寺門泰彦教授、16時より武田
千枝子教授の講義を学習院大学
西5号館地下1階にて行いま
す。当日、18時から輔仁会館1
階（学生食堂）にてパーティー
を行う予定です。卒業生の
皆様もふるってお越し下さい。

ドイツ文学科

平成17年1月29日

ドイツ文学科で長らくご指導
下さいました川口洋教授、下宮
忠雄教授が今年度をもって
定年退職なさいます。最終講義
を次の日程で開催いたします。
日時／平成17年1月29日（土）
13時30分～16時30分。場所／西
5号館201号教室。

なお、講義の後17時から百周
年記念会館小講堂にて懇親会を
予定しております。多数のご参
加をお待ち申し上げます。

経済学部会

元資源エネルギー庁長官
河野博文氏が総会で講演

11月17日、百周年記念会館に
て経済学部会総会が行われまし
た。今回は10数名の現役学生も
参加しました。開催にあたり内
藤政武会長は、さらなる若手の
参加を促されました。講演会は
元資源エネルギー庁長官の河野
博文氏（昭39高）を講師に迎え、
「我が国のエネルギー事情」と
題して、エネルギー資源の安定
価格、環境、効率の3つのバラ
ンスの大切さをお話になりました。
経験と見識をもとにした講
演に、一同熱心に耳を傾けてい
ました。引き続きの懇親会に
は110名が参加。



エネルギー政策の重要性を語る河野博文氏

中専科 一校友会

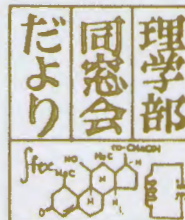
安西東京ガス会長が講演
第7回総会開催のご案内

平成17年2月19日（土）に第
7回中専科・高等科校友会総
会・講演会・懇親会を開催しま
す。場所と時間は例年通り、
中・高等科校舎5階で、15時30
分開場、16時スタートです。会
費は6000円（平成13～15年
高等科卒業生は3000円）で、
平成16年高等科卒業生はご招待
しています。

今回の講演は東京ガス株式会
社代表取締役会長・安西邦夫氏
（昭27高）でテーマは「選択さ
れるエネルギーを目指してーエ
ネルギー改革の行方」。毎回、
内容の濃い講演会は、大教室が
いっぱいで見えがでるほどの盛
況ぶりです。

また、この総会に併せて各学
年の同期会なども開いていただ
ければ、より楽しい会になると
思います。旧先生や現役の先生
方も出席され、懐かしい話や、
今の中・高等科の状況を話しあ
う良い機会です。ぜひ、皆さん
同級生や会員の方々と誘ってこ
出席下さい。

中・高等科校友会では課外活
動を助成する中・高ファンドを
募っておりますので、併せてよ
ろしく願います。



平成16年度総会

6月26日、理学部同窓会の平成16年度総会・講演会・懇親会が開催されました。

総会では「理学部同窓会会則の改定」議案が上程され、提案説明及び慎重審議の結果、これを可決承認いたしました。

総会に続き、川路紳治名誉教授に「半導体の物理学50年」と題して講演いただきました。講演会には、永田大学長、亀井校友会長、小谷理学部長はじめ多くの来賓の方々にご出席をいただき、また在学生の聴講もありました。世界に先駆け半導体の表面、界面の研究を開始、や

文書（郵便及びFAX）による 理学部同窓会臨時総会

下記により理学部同窓会の文書による臨時総会を開催致します。

同封の集書に記載の上

①郵送、または

②校友会事務局宛てにFAX願います。

議題 1.会長承認の件

2.監事承認の件

（詳細は同封のご案内をご覧ください）

◎締切 平成17年1月11日必着



総会後の川路紳治名誉教授の講演会

就職ガイダンス

第1回（6月19日）

「基本的な取り組み方」

理学部学生採用の求人が、不景気の時代にもかかわらず約300社から来ている実情を考へて、理学部学生の有利さを活用することをアドバイスしています。実際この方法を実行し、効率よく就職に成功したここ数年の卒業生を招

き、その実体験の発表をしてもらいました。

第2回（10月2日）

「業界紹介」

会社選択に当たって必要な、業界の現状の知識を現在活動中の中堅OB・OGに講演をしてもらいました。

第3回（11月27日）

「会社の実情収集」

学生の希望している会社をアンケートによって調べ、各社から約50人の卒業生を招き、約10対10の少人数で直接対話をする場を設けています。

以上3回のガイダンスとは独立に、OBボランティアと希望学生との一対一面談を行っています。

理学部同窓会寄付会費 ご協力のお礼とお願い

理学部同窓会会長 菅 忠義

校友会報83号（平成15年12月）、同84号（平成16年5月）の理学部同窓会だよりで、寄付のお願いをいたしましたところ、多数の会員の方々のご賛同を得ました。

これまでお伝えしておりますように、理学部同窓会は5年ごとに会員の皆様に寄付のご協力ををお願いし、これを同窓会誌発行や通信費等、同窓会の活動資金に充てています。

本年度はその5年目に当たり、本寄付をただいま下記要領

にて募集中です。すでに、ご協力いただいた多くの会員の皆様に、厚く感謝申し上げますとともに、まだお済みでない方はぜひご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

「寄付金募集要領」

一口5000円／何口でも結構です。

払込方法／郵便振込みでお願いします（校友会報84号同封の用紙、または通常の払込用紙で左記宛てにお振込み願います）。

口座番号 0017008836

加入者名 学習院大学理学部同窓会

特典／理学部同窓会誌 第9号と別冊（平成16年6月発行）を各1部、記念にお贈りいたします。

技術交流会

第28回講演会。平成16年6月26日（土）、「半導体の物理学50年」川路紳治名誉教授 同窓会総会講演会と共催。

第29回講演会。同9月11日（土）、「電解質水溶液の性質について」橋谷卓成氏（昭34化）。

第30回講演会。同11月6日（土）、「大学ITOと大学発ベンチャーの現状」鈴江栄二氏（株・大和総研・新規産業調査本部本部長）。

技術交流会には、どなたでも入会できます。別掲理学部同窓会連絡窓口までお問合せ下さい。

研究室訪問

常任幹事を主に数人の会員で各研究室をお訪ねし、先生に研究室の概要を説明いただいた後、学生に研究テーマを紹介してもらい、実験室を見学します。同窓会からは、会の説明を行うとともに、研究室代表幹事や、学年幹事の推薦を依頼します。

ホームページ

別掲のアドレスをクリックして見て下さい。校友会ホームページの中の「理学部同窓会便り」が開きます。

総会や技術交流会等、その時々の開催案内やご報告、あるいはそれらのバックナンバーや会則など、楽しい情報が満載されています。ぜひご覧下さい。

理学部同窓会連絡窓口（事務局）

〒161-8691 東京都落合郵便局私書箱第55号 学習院大学理学部同窓会

E-mail: doso-ri@gakushuin.ac.jp

E-mail: NAOMITOKYO@aol.com

理学部同窓会ホームページ

http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/gakubukai/rigakubu.htm

「感謝と尊敬の 念をもつて」

引きつづき「改善」「改良」に努めていく！



高森邦彦
桜友会常務理事
事務局長 (昭54政)

世の中、新聞・テレビを問わず「改革」「スピード」といった気ぜわしい文言が未だに大流行です。挙げ句の果てには「いかなものか」といった、何とも不思議な言葉まで流行る始末。

そんな世の中ですが、学習院の中に目を転じてみますと、歴史がある学校を卒業して本当に良かったと思うことが度々あります。例えば事務局長という立場上、学習院の多くの先輩にお目に掛かりますが、特に先輩方のお話の間、「品の良い表現」には本当に新鮮な感動を覚えます。これは「精神的な余裕が成せる技」とでもいうのでしょうか。言葉を大切に、相手との間を楽しむ、こういった無形の伝統も大切に受け継いでいきたいものです。

現在のようないきいきとした時代、こういった時代だからこそ学習院の良さ（これはそれぞれお考えください）がなお一層注目されるのではないのでしょうか。しかし、それも自分たちは何もしないで、ただ単に先達の実績にあぐらをかいて「優れた伝統」と言ってみても意味がありません。「温故知新」——まず過去のことを知ることから始まり、学び、身につけ、これから活かす。この地道な作業を続け、そのバトンを次の世代に渡す。これをまた次世代が繰り返す。これによって、優れた伝

統が作られていくような気がします。そのためには桜友会では日本や学習院の良い伝統を、卒業生はもとより現役学生の皆様に、もつと認識していただけるような企画を実施してまいりますので、その際はぜひご参加ください。

また、桜友会では以前は良かった制度でも「制度疲労」をおこして実態に合わなくなったり方々、大きな変化を必要とする事柄も出てきております。これも「変えるべきこと」と変えてはならないこと」をきちんと見極めた上で、実行してまいります。

近年、桜友会では学校法人ともいろいろ協議することも多くなつてきており、また、お願いを申し入れることも増えてきております。当然、立場上意見を異にすることもありますが、あくまでも桜友会会則第6条（目的）にも書いてありますように《本会は、学習院の優れた伝統を尊重し、母校の発展のため、積極的な後援を行うとともに、会員の相互親睦を図り、もつて学習院教育の進展及び社会公共に寄与することを目的とする》ということを忘れずに、前任者や先達、また相手に対する「感謝の念」「尊敬の念」をもつて引きつづき「改善」「改良」に努めてまいります。

平成17年度

桜友会役員候補者 推薦のお願い。

役員候補者推薦委員会委員長
山下洋二郎 (昭36経)

役員候補者推薦委員会では、

平成17年度役員改選にあたり、桜友会の役員候補者として新しき人材のご推薦をお願いしております。

桜友会の一層の活性化とともに母校・学習院との相互の親睦増進を図るためにも、平成17年の役員改選にともなう候補

者については、同窓会活動に意欲があり、かつ積極的な活動力のあふる新しい若き人材の参加を求めています。

何卒各位には、積極的思考のもと有力な候補者のご推薦をお願い申し上げます。

なお、理事のご推薦は桜友会会則によって評議員の中から選出することになっております。監事および評議員については正会員（基本会費納入者）が対象となります。

《締切日》平成17年1月31日。
《推薦役員》理事・監事・評議員。
《推薦方法》推薦用紙に記入の上桜友会事務局へ送付。推薦用紙は桜友会事務局にご請求ください。インターネットによる推薦については桜友会HPを参照のこと。
《問合せ》桜友会事務局

桜友会役員候補者推薦用紙					
①	卒業年度	昭・平 年	大隈・大学・女子大・短大・高等・中等・初等	学部	学科
役員候補者用紙	フリガナ				
	氏名				
	住所・電話				
	職業				
推薦理由	(該当するものを○で囲んでください) 理事・評議員・監事				
推薦理由	桜友会活動との関与				
推薦理由					
推薦者用紙	卒業年度	昭・平 年	大隈・大学・女子大・短大・高等・中等・初等	学部	学科
	フリガナ				
	氏名				
	住所・電話				
職業					

桜友会事務局だより

平成16年度

桜友会総会

および評議員会 開催レポート

平成16年5月20日、平成16年度桜友会定時総会および評議員会が学習院創立百周年記念会館小講堂で開催されました。

総会にあたって亀井泓会長より挨拶があり、平成16年度の桜友会基本方針についての説明がありました。

《平成16年度基本方針》

16年度は、全うにおいて「Trial Year」と位置づけ、具体的に試行してみる事とする。

1. 「学習院新長期計画」への協力強化—継続課題の解決。
2. 「学習院の継承すべき伝統と文化」の具現化—準会員に対する桜友会講座（仮称）の実施。
3. 積極的情報発信—情報媒体の内容、発信の仕方の見直し。
4. 会員へのサービス充実—会員数10万人を突破した組織にふさわしいサービス内容の検討と

実施。

総会議案は、(1)平成15年度事業報告、(2)平成16年度事業計画および予算の件、(3)評議員選出の件、(4)その他、桜友会参与報告の件で、全会一致で承認。引きつづき評議員会が開催され、(1)会長指名理事選出の件、(2)その他の議案が承認されたのち、恒例の懇親会へと議論の場所を移しました。

また、11月13日には、百周年記念会館小講堂で学校法人との共催による平成16年度全国支部長会が開催されました。学習院および桜友会の現況報告、佐賀市と郡山市で行われる来年度の学習院公開講演の件などが話題となりました。つづいての西2号館での評議員会では、(1)平成16年度上半期事業実施報告および下半期事業計画、(2)平成16年度上半期経理状況報告、(3)その他、桜友クラブの件などが審議、承認されました。会議終了後は、百周年記念会館で懇親会が開催され、田島義博学習院長、永田良昭大学長、学校関係者も多数出席、親交を深めました。

輔仁会OB・OG 代表者会で 水上スキー部表彰

輔仁会OB・OG代表者会が11月5日（金）に百周年記念会館小講堂で行われました。会場には、亀井泓桜友会長や田島義博学習院長、湯沢威学習院輔仁会理事長が来場し、それぞれ挨拶をされました。続いて、平成16年度の成績優秀クラブ表彰も行われ、今年は男子水上スキー部が表彰されました。男子水上スキー部は8月に行われた全日本学生水上スキー選手権大会で強豪を抑さえ、見事総合優勝（女子水上スキー部も準優勝）。この栄誉を讀え、今回の受賞となりました。また、今年から新たに輔仁会以外の組織を表彰する桜友会長特別表彰が設けられ、学習院ボイスカウト（ボイスカウト東京豊島第一団）が表彰されました。



亀井会長より表彰を受ける男子水上スキー部員

学習院女子大学に 屋上庭園を備えた 新校舎「2号館」完成

学習院女子大学に今年9月、新校舎「2号館」が完成しました。地上4階、地下1階の鉄筋コンクリート造りで赤レンガを基調としたその外観は、上品で落ち着いたたたずまいを醸し出しています。建物の中心を貫く通路（ガレリア）をほさんで、教室棟と化粧室や階段を備えた棟に分かれ、教室棟の1階には書店や売店、多様な情報を備えた就職指導室など、また地下1階には約600人の



エスカレーターも設置された新校舎

行事開催予定

- ◎第38回チャリティチェリーパーティー
日時／12月11日（土）午後5時30分開場
場所／東京プリンスホテル
会費／大人1万5000円（幼稚園以下1万2000円）
- ◎桜友会新年会
日時／平成17年1月7日（金）
場所／霞会館
- ◎職域桜友会
日時／平成17年2月24日（木）
場所／霞会館
- ◎春季全国支部長会・評議員会
日時／平成17年4月16日（土）
場所／目白キャンパス西5号館
- ◎第19回オール学習院の集い
日時／平成17年4月17日（日）
場所／学習院キャンパス
- ◎桜友会総会・評議員会
日時／平成17年5月19日（木）
場所／百周年記念会館
- 《桜友会ホームページ》
<http://oukaie.gakushuin.ac.jp/>
※新潟県中越地震の被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。桜友会ではワンダーフォーゲル部ゆかりの旧湯之谷村（現・魚沼市）および日本赤十字社を通じ、義援金をお送りしました。1日も早い復旧をお祈りいたします。

〔行事終了報告〕平成16年9月7日、埼玉県・霞ヶ関カンツリー倶楽部にて、常陸宮殿下、同妃殿下をお迎えしての第39回桜友会ゴルフ大会。11月20～21日には福井への桜友会旅行会を開催。

櫻友クラブ主催 日本の伝統文化に 触れる会開催

櫻友クラブ主催による「日本の伝統文化に触れる会」が、平成16年11月19日、この秋に完成した学習院女子大学新館2号館で催されました。

今回のテーマは「御香の歴史とその深い楽しみを探る」と題して、女子大学で講師も勤める御家流香道23代宗家の三條西堯水氏に香道の手ほどきを受けるというもの。

当日使われた御香は「時雨香」。時雨とはまた違いますが、



2回に分けて催された、櫻友クラブの御香の会

秋雨の降る日で、何となく優雅な気分。
村上智也副会長、波多野敬雄
女子大学長も参加され、におい
当てに興じていました。

生涯学習センター で冬期講座を あらたに開設

目白駅から徒歩5分と抜群のアクセスを誇る学習院生涯学習センター。生涯学習に対する世の中のニーズもますます高まりゆく中で、春と秋の年2回開講されていた「学習院生涯学習センター講座」に、1月中旬から新たに「冬期講座」があわせて14講座開設されることになりました。

今回開講されるのは、「紫式部日記を読む」「吾妻鏡」を読む「日本古代史 中国が見た女帝

推古の時代」「鉄道で巡るヨーロッパの旅」「カリグラフィ入門」「少字数書への挑戦!!」「花ときめき いけはなの魅力」「ポタニカルアート講座」「自分史を書く」「パーソナルカラーを学ぶ」「香道 組香を楽しむ」「午後は紅茶にいたしましょう」「体脂肪を減らしてきれいに」「就職のための文章講座 第2弾」の14講座です。詳しい講座内容を記したパンフレットのご請求やお申込み・お問合せは、学習院生涯学習センターまでお気軽にどうぞ。
03-5992-1040
<http://www.gakushuin.ac.jp/op/en/>

お知らせ! ATTENTION!

皆様のお近くの 会費未納者の方に お知らせください

校友会は、会員の皆様の会費により運営されていますが、現在、会の財政も厳しくなつてきております。今回は、会費未納の方々につきましてはこの「校友会報」が送付されておられます。今後ともするようにさせていただきますので、お近くに会費未納の方がいらつしやいましたらこの旨をお知らせください。

『学習院広報』の 卒業生への配布 について

学習院広報課が発行している「学習院広報」は、今年度同様、来年度についても卒業生には事前申込みによる配布となります。希望者は平成17年4月30日までに官製はがきで学習院広報課までお申込みください。平成17年度の第1回目の発行は、6月中旬の予定です。
《申込み》〒171-8588
東京都豊島区目白1-15-1
学校法人学習院広報課宛

平成16年度役員名簿

《会長》 亀井 泓 昭24旧高	山尾 信孝 昭47政	原口 兼義 昭13旧高
《副会長》 小野田 博 昭30化	善利 秀臣 昭48経	星野 慎吾 昭13旧高
草刈 廣 昭31政	石川 悦也 昭52高	宮入 清 昭14旧高
村上 智也 昭31政	淡野 健 昭60経	外池 寅松 昭16旧高
東園 基政 昭36物	山本 孝広 昭61営	藤田 謙五 昭16旧高
《常務理事》 高澤 寛 昭35経	山本 靖彦 昭38経	竹屋 康光 昭17旧高
武藤 通章 昭37政	夏目 勸嗣 平2法	小山 芳敏 昭18旧高
大和田 孝 昭37化	《監事》 杉本 惇 昭32政	永山 武臣 昭20旧高
耀 英一 昭39経	山本 時雄 昭33経	坊城 俊周 昭22旧高
奥津 好恵 昭41英	柳原 從光 昭38経	吉井 滋 昭22旧高
黒川 光隆 昭43政	山本 靖彦 昭38経	中山 兼光 昭23旧高
金田 雅律 昭44経	《役員候補者推薦委員》 山下洋一郎 昭36経	正田 宏一 昭26旧高
吉江 隆信 昭50公	川原 敏資 昭33経	中條 高徳 昭27英
松尾 薫 昭53政	川瀬 量平 昭34経	吉野 和子 昭27短英
坂野 雅俊 昭54政	松本 博子 昭34短高	明石 元昭 昭27高
高森 邦彦 昭54政	北村 紀子 昭37短家	前田 眞也 昭28政
飯野 浩一 昭63営	木越 安典 昭38経	松岡 志郎 昭28化
波多野敬雄 昭25高	松平 宗紀 昭38物	高木みどり 昭28短高
松方 康 昭26高	愛宕 威志 昭41経	吉村 惇子 昭28短高
内藤 頼誼 昭29高	西川千佳子 昭41哲	小倉 孝二 昭29政
三松 奎作 昭30政	諸戸 典子 昭47政	田中 靖政 昭29政
安田 正 昭30高	原沢 政純 昭49政	二宮洋太郎 昭29政
柳井 俊一 昭31高	橋爪実樹尚 平2法	浅野三千秋 昭29化
久保 治彦 昭32政	金田 雅律 昭44経	草野 和雄 昭29化
菅 忠義 昭33物	高森 邦彦 昭54政	小林 規子 昭29短家
大井 昭彦 昭34経	竹田 裕彦 昭56法	勝 治信 昭30経
葛城 茂敬 昭34化	島津 久厚 昭14旧高	湯本 和子 昭30経
脇田 宏 昭37化	《顧問》 賀陽 治憲 昭22旧高	吉岡 博光 昭30経
江川 和子 昭37短家	東園 基文 昭6旧高	角 雄二 昭31政
児玉 茂幸 昭39経	林 友春 昭9旧高	廣部 周助 昭31政
杉山真喜子 昭39短高	堀越 善雄 昭15旧高	佐藤助九郎 昭31経
杉浦 孝子 昭39短家	黒田 長榮 昭18旧高	徳川 義宣 昭31経
三田 由美 昭41英	田中 雄平 昭20旧高	橋川 康子 昭31国
林 なおみ 昭42数	犬養 康彦 昭27政	梶本 孝雄 昭32経
六車 徹 昭46経	《参与》 六所 五郎 昭12旧高	上田 洋子 昭32短高
		三村真喜子 昭34短家
		落合 雅子 昭35短家
		野田 豊 昭40経

校友会顧問の林友春氏(昭9旧高)は、平成16年11月18日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りするとともにお知らせいたします。

平成15年度決算書・平成16年度予算書

貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

1. 資産の部

(単位: 円)

科目	平成16年3月 31日現在(A)	平成15年3月 31日現在(B)	比較増減 (A-B)
現金	431,068	431,068	0
預金	41,386,900	38,859,500	2,527,400
有価証券	991,707	1,233,980	△242,273
貯蔵品	1,276,890,247	1,212,185,139	64,705,108
前払費用	2,142,000	1,641,195	500,805
立替金	617,890	553,679	64,211
貯蓄金	932,950	0	932,950
(普通預金)	209,040,167	232,789,903	△23,749,736
(郵便振替預金)	5,291,395	1,155,005	4,136,390
預け金	0	484,000	△484,000
現金	168,011	504,922	△336,911
運用財産計	1,537,892,335	1,489,838,391	48,053,944
資産合計	1,537,892,335	1,489,838,391	48,053,944

2. 負債および正味資産の部

(単位: 円)

科目	平成16年3月 31日現在(A)	平成15年3月 31日現在(B)	比較増減 (A-B)
前受金	307,480,000	301,554,000	5,926,000
未払金	3,812,585	3,002,170	810,415
引当金	41,386,900	38,859,500	2,527,400
仮受金	372,220	1,103,920	△731,700
預り金	22,314	20,679	1,635
負債計	353,074,019	344,540,269	8,533,750
積立金	850,000,000	840,000,000	10,000,000
施設拡充積立金	100,000,000	100,000,000	0
校友会奨励金積立金	150,000,000	150,000,000	0
名簿発行積立金	10,000,000	30,000,000	△20,000,000
前期繰越金	35,298,122	7,977,617	27,320,505
当期繰越金	39,520,194	17,320,505	22,199,689
正味資産計	1,184,818,316	1,145,298,122	39,520,194
負債・正味資産 合計	1,537,892,335	1,489,838,391	48,053,944

平成15年度決算総括表

収入の部 合計	161,705,287
費用の部 合計	122,185,093
収入・費用差額	39,520,194

上記の平成15年度決算書・平成16年度
予算書は監事4名により確認されました。

平成15年度収入費用決算書並びに平成16年度収入費用予算書

収入の部

(単位: 円)

項目	平成16年度予算額	平成15年度決算額
会費収入	98,368,000	98,770,675
寄付金収入	0	292,500
財産収入	15,000,000	32,967,950
事業収入	17,630,000	26,800,796
その他の収入	500,000	776,766
引当金戻入	0	2,096,600
収入合計	131,498,000	161,705,287

費用の部

項目	平成16年度予算額	平成15年度決算額
人件費	17,710,000	15,916,312
事務費	14,370,000	11,329,577
事業費	93,678,000	93,794,671
予備費	4,000,000	0
一般経費	120,000	87,138
その他	500,000	1,057,395
費用合計	131,498,000	122,185,093

剰余金処分

(単位: 円)

前年度繰越剰余金	35,298,122
当年度収入超過額	39,520,194
計	74,818,316
名簿発行積立金取崩	10,000,000
計	10,000,000
これを次の通り処分する。	
基本会費積立金繰入	10,000,000
名簿発行積立金繰入	0
計	10,000,000
次期繰越剰余金	74,818,316

平成16年度委員会組織表

平成16年6月1日現在

部会名	担当副会長	委員会名	委員長	主な業務内容
情報	村上副会長	情報発信委員会	吉江常務理事	校友会報、オプリージ、短信の編集ならびに発行。ホームページの充実
		広告担当委員会	黒川常務理事	広告協賛活動推進全般
		校友会講座準備委員会	坂野常務理事	日本および学習院の伝統と文化を在学に伝えるための具体的方策を検討
組織	草刈副会長	組織活性化委員会	武藤常務理事	全国支部及び海外支部との連携、首都圏会員の組織化、輔仁会、職域等の推進と活性化。
		学年会組織化委員会	鐘常務理事	学年会、各学部会の組織化検討と運営企画
親睦	小野田副会長	親睦委員会	金田常務理事	新年会、ゴルフ会、旅行会等の企画実施
		月例会委員会	高澤常務理事	月例会の企画実施
	東園副会長	催事委員会	松尾常務理事	オール学習院の集い、年末パーティの企画実施
準会員	東園副会長	準会員就職支援委員会	竹田常務理事	準会員に対する就職支援活動
		助成金支給委員会	奥津常務理事	院在生及び部活への助成金・校友会奨励金支給、及び海外留学生への支援
事務局	村上副会長 (高森事務局長)	学習院支援委員会	高森常務理事	院における危機管理課題や各学校における課題等についての支援
		財務プロジェクト	飯野常務理事	基本財産の運用管理(プロジェクト)、予算執行業務
		データ管理プロジェクト	大和田常務理事	会員のデータ管理、CPS開発推進、名簿発行後のメンテナンス
		校友クラブ・校友会カードプロジェクト	高澤常務理事	クラブ主催行事の企画実施、赤プリ旧館管理及び院とのカード統合検討
		院との協議窓口	高森事務局長	院との協議事項(仮称「校友会館」建設、基本会費徴収代行問題等)

会員情報の更新(会員番号をお知らせ下さい)

会員の現況情報は、原則的にご本人から校友会事務局へのご連絡によって更新しております。ご逝去の場合はご家族からのご連絡によります。ご家族からのご連絡以外に、知人の方や各組織から新しく提出された名簿の照合によることもあります。

ご本人以外からの情報の場合には卒年・学科の間違ひがあることがあります。事務局ではご家族にお電話で確認することを原則としておりますが、同音の場合など確認ミスが生じることが稀にあり、訃報欄の訂正とお詫びを掲載することになります。

確実に会員情報を更新するためには会員番号をお知らせいただければ幸いです。会員番号は宛名シールの下部に印刷されている10桁(4桁-3桁-3桁)の数字です。ご協力よろしくお願いいたします。

そのクルマは、私の美意識を挑発する。



美意識 × 美意識

乗るたびに、新しい歓びがある。どこまでも、走って行きたいと思える。

レガシィが追い求めてきたのは、言葉や数値では語れない、感性という領域の性能。

そして、いま。すべては緻密に仕立てられ、その姿は、ひとつの美しさを醸し出す。

緻密という、スペシャルティ。

出会った瞬間に、そして深く触れ合うほどに。

このクルマは、あなたの美意識を挑発する。



SYMMETRICAL AWD
ALL WHEEL DRIVE



and now, 3.0R spec.B [6MT]
DEBUT メーカー希望小売価格(消費税込): [3.0R] 3.0 AWD 6MT 3,307,500円

洗練された滑らかなフィールと優れた環境性能を実現した
3.0 水平対向6気筒エンジン [SUBARU BOXER 6]
搭載。○最高出力 [ネット] 184kW (250PS) / 6600rpm
○最大トルク [ネット] 304N・m (31.0kg・m) / 4200rpm

低重心と優れた重量
バランスが、卓越した
走行性能を実現。

SYMMETRICAL AWD

環境性能にも優れた、平成17年
基準排出ガス50%低減レベル車
(★★★) (3.0R・2.0i) ○10・15
モード燃費 11.6km/ℓ (3.0R)

上質な室内空間、
アイボリーレザー
セレクション。(メー
カー装着オプション)

○カーライフの楽しみを広げるネットワークサービス [SUBARU G-BOOK] 対応、レガシィビルト
インDVDナビゲーションシステム。今ならお得なご入会キャンペーンも実施中。詳しくは店頭
または <http://subaru.g-book.com> まで。(G-BOOKはトヨタ自動車株式会社の商標です。)

シートベルトをしめて安全運転。チャイルドシートも忘れずに。スピードはひかえめに、
安全はスバルの願い。[SUBARUお客様センター] SUBARUコール 0120-052215
受付時間 9:00~17:00 (平日) / 9:00~12:00、13:00~17:00 (土日祝)

PHOTO: 3.0R (オプション装着車)

◎3.0R 3.0 AWD E-5AT 3,150,000円 ◎3.0R ADA 3.0 AWD E-5AT 3,885,000円 (受注生産) ◎2.0GT 2.0
メーカー希望小売価格 (消費税込) AWD 5MT 3,024,000円/E-5AT 3,097,500円 ◎2.0GT spec.B 2.0 AWD 5MT 3,181,500円/E-5AT 3,255,000円
◎2.0R 2.0 AWD 5MT 2,520,000円/E-4AT 2,572,500円 ◎2.0i 2.0 AWD E-4AT 2,289,000円

*メーカー希望小売価格は参考価格(消費税含む)です。販売価格は各販売会社が独自に決めておりますので、それぞれにお問い合わせください。*photo: 3.0Rのメーカー装着オプション
(濃色ガラス・クリアビューバック・アイボリーレザーセレクション、152,250円 消費税含む) は表示価格に含まれておりません。*税金
(消費税を除く)、保険料、登録等に伴う諸経費は別途申し受けます。*登録等に伴う手続き代行費用については別途消費税を
申し受けます。*メーカー希望小売価格にはスペアタイヤと標準工具が含まれます。販売店でセットする付属品は別途扱いです。

2005年1月1日 自動車リサイクル法がスタートします。
www.subaru-LEGACY.jp

I feel LEGACY
LEGACY
TOURING WAGON

桜友会創立80周年記念

平成15年版 **桜友会会員名簿** が発行されました。

◇発行：平成15年10月

◇大学院の名簿をより充実させました。

◇勤務先名簿：5名以上在籍する企業・学校・官公庁を掲載。

◇A4判 上製本。

*尚、名簿のお申し込みは基本会費納入者に限ります。

*頒布価格は1部8,000円（送料込み）です。

ご希望の方は振込用紙を桜友会事務局迄ご請求下さい。



お問い合わせは

桜友会事務局

電話 (03) 3988-3288

FAX (03) 3988-3853

編集後記

桜友会の催しもの

お問い合わせは下記事務局まで

編集長・吉江隆信（昭50）
委員・内藤頼誼（昭29） 安田正（昭30） 松尾文夫（昭31） 三富哲也（昭32） 高澤寛（昭35） 後藤昭彦（昭38） 山田登（昭38） 児玉茂幸（昭39） 杉肇子（昭39） 鈴木昌明（昭39）

（昭41） 朝来野静子（昭42） 林なおみ（昭42） 小田賢太郎（昭45） 鈴木寛子（昭46） 長谷川かず子（昭47） 善利秀臣（昭48） 鈴木紀久子（昭51） 石川悦也（昭52） 近藤麻紀（平3） 短家

『桜友会報』を担当する「情報発信委員会」が新体制となりました。今回は新体制での最初の編集となりましたが、思い切った誌面を刷新しております。読んでいただける会報、もしかしたら保

存していただけるかもしれない会報、そんなことを思い浮かべてページ構成をしてみました。今後、皆様のご意見をうかがいながら、さすが学習院同窓会といわれるような会報となるようつとめさせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

毎週月曜日 10時より	毎月 第2木曜日 18時より	平成17年 5月19日(木) 18時より	平成17年 4月17日(日) 10時より	平成17年 1月7日(金) 18時より
ブリッジ講習会 お問合わせは桜友会レディス（越美子）03-3740-0400 会場・輔仁会館または常磐会会議室 会費・初心者 六、〇〇〇円 初級終了者 三、〇〇〇円	桜友会月例会 会場・霞会館 会費・男性四、〇〇〇円・女性三、五〇〇円 毎回卒業生をゲストスピーカーに迎えての「50分スピーチ」が好評です。（8・12・1月は休みます）	桜友会総会・評議員会 会場・学習院創立百周年記念会館 会費・一、〇〇〇円	第19回オール学習院の集い 会場・学習院大学構内 幼稚園から卒業生までが一同に会する機会です。各種イベント、クラス会、ゼミOB会が開催されますので楽しい一日を目標で過ごして下さい。	桜友会新年会（事前受付） 会場・霞会館 会費・五、〇〇〇円 会員の方はどなたでもお誘い合わせの上お出かけ下さい。なお、整理の都合上事前受付とさせていただきますので、締切日までに桜友会事務局までお申し込みください。 〔締切日・平成16年12月24日(金)〕

桜友会報 第85号

発行日 2004(平成16)年12月1日 発行者 桜友会 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院内

☎(03)3988-3288(直通) FAX(03)3988-3853

E-mail: oukai1@gakushuin.ac.jp

<http://oukai.etc.gakushuin.ac.jp/>